

科目名	大学入門			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	石丸 隆行	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面と遠隔で実施する。
 大学での学びは、高校までの「生徒」とは異なり、大学生として自ら興味を持ち、積極的に、楽しく学ぶ能動的・主体的な態度で臨むことが求められる。本学の建学の精神を理解し、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を身につける。また、大学生活を有意義に過ごすために社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知ることを目的とする。

到達目標

M1110

- 1、本学の建学の精神を理解し、述べることができる。
- 2、授業の受け方やノートの取り方、レポートの書き方、情報収集や資料の整理法といった具体的な学びの技法を習得し、実際の授業で実践できる。
- 3、社会人としての基礎知識や常識、マナーについて知り、大学生活の中で活用することができる。

成績評価方法

レポート課題と毎回の授業レポート、及び授業参加度により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	大学入門オリエンテーション 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（10分）	授業内レポート
2)	大学で学ぶこととは？ 「授業の受け方とシラバス活用法」 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
3)	学長講話 【予習】シラバスを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
4)	インターネットを安全に利用するために 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
5)	大学生の健康管理について 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
6)	消費者教育講座 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
7)	身近な危険から自分を守る 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
8)	学びの技法Ⅰ「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
9)	学びの技法Ⅱ「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
10)	学びの技法Ⅲ「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
11)	学びの技法Ⅳ「ノート＆レポートの書き方、資料整理法について学ぶ」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
12)	定期試験対策ガイダンス 【予習】キャンパスライフを読む（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
13)	「人として生きていくためのマナーとは」 ①社会人となるための心構えとマナーについて 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	グループワーク
14)	「人として生きていくためのマナーとは」 ②挨拶や言葉遣い・身だしなみ等について 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	グループワーク
15)	夏休みの過ごし方・後期授業に向けて 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	授業内レポート
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
授業毎に資料を配布する		キャリアデザイン

課題に対するフィードバック
提出されたレポートは、Google classroomにて返却を行う
備考
受講の心得 ・私語を慎むこと ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること ・本授業で学んだ学習方法を積極的に授業に取り入れること ・レポート課題を提出すること ・授業内レポートは、Google classroomを活用して実施するため、使用環境を整えておくこと

科目名	キャリアデザイン			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	幸 恵里	関連する資格		

授業概要

本授業は、原則対面で行います。
 長期的な展望にたった自分自身のキャリアをとらえて、今後の学生生活をどのようにデザインするのかを考え、大学卒業後、どのような人生を送るか、学生自身が主体的に決めていかなければならない。自分に必要な仕事や資質にあった進路選択をするための基礎知識を身につけ、自己分析を行い、業種・職種について知る。また、職業意識の形成と実際の就職活動における具体的な活動方法を実践的に学ぶことを目的にする。

到達目標

- M2108
- ・自分の進路選択を行うことができる。
 - ・職業意識の形成ができる。
 - ・進路や就職活動における基本知識や技術が身につく。
 - ・就職説明会や企業説明会、インターンシップなどに積極的に参加することができる。

成績評価方法

毎回の授業レポート、授業参加度を総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	キャリアとは「テキストの活用法及び卒業後の様々な進路と心構え」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
2)	社会が求める社会人基礎力とは 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
3)	就職に向けて「着こなしセミナー・化粧の仕方」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
4)	就職に向けて「自己分析」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
5)	就職に向けて「履歴書作成」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
6)	就職活動のためのマナー講座 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
7)	生活設計とリスク管理 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
8)	労働条件セミナー 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
9)	就職に向けて「面接について」 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
10)	・体験面接講座(1班) ・パソコンを活用した情報検索(2班) ・就職試験に向けての学力対策(3班) 【予習】テーマについて準備（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）	
11)	・面接体験講座(3班) ・パソコンを活用した情報検索(1班) ・就職試験に向けての学力対策(2班) 【予習】テーマについて準備（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）	
12)	・面接体験講座(2班) ・パソコンを活用した情報検索(3班) ・就職試験に向けての学力対策(1班) 【予習】テーマについて準備（10分）【復習】授業内容を整理する（20分）	
13)	就職活動の進め方 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
14)	進路調査カードの記入 【予習】テーマについて準備（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
15)	キャリア理論 【予習】テーマについて考える（10分） 【復習】授業内容を整理する（20分）	
授業外学習		
授業内で自己分析や履歴書・進路登録カードの作成を行いますので、日頃から準備しておいて下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
キャリアプランからはじまる 就職活動 実践！ワークブック 」 P H P 研究所		大学入門

課題に対するフィードバック	
授業内でまとめてフィードバックする	
備考	
受講の心得 ・自分自身の将来について真剣に考えること. ・社会人としての心得やルールを身につけること. ・希望進路を決定し、目標に向かって自ら行動を起こすこと. ・自分の考えをもってグループ討議に参加すること ※授業計画は都合により変更することがあります。	

科目名	人の心の理解			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	中山 浩行	関連する資格		

授業概要

人の心を理解する方法の一つとして心理学がある。その心理学の中でも主に臨床心理学を学習し、臨床心理学を通して、自分を見つめ、自分を知る。その為の方法として、心理検査、エンカウンターグループ、夢の分析等の体験もする。講師の中山は、精神科病院の臨床心理士、小中高の学校のスクールカウンセラー、市教委のカウンセリングアドバイザー、これら40年間の実務経験をもとに、心理学全般、臨床心理学についての授業を行なう。

到達目標

ナンバリング(M1111)

- ①悩んだり困ったりした時の自分の反応（性格）を振り返る為の知識を身につける。
 ②今後の自分の生活に役立てる為、心の病、いじめ、不登校等の知識を身につける。

成績評価方法

定期試験による評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				90
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		5
演習			○		○		5
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 心理学の概要とオリエンテーション 【復習】臨床心理士の仕事についての理解（20分）		
2) 夢の分析（自分の見た夢の自己分析） 【復習】自分の見た夢の分析（20分）		自分の夢を記述して、その夢を分析する。
3) エンカウンターグループの体験（集団の中での自分） 【復習】グループワークの中での自分の振り返り（10分）		グループワーク体験を通して集団への関わり方を知る
4) ストレスチェックリストによる自己分析、簡単な心理検査の体験 【復習】自分の心理検査結果の振り返り（15分）		ストレスチェックリスト等心理検査から自分を知る
5) 心理検査『エゴグラム』の体験 【復習】自分のエゴグラムの自分なりの分析をしておく（10分）		交流分析による心理検査を体験し、自己分析をする
6) 交流分析の理論（3つの私による分析） 【復習】構造分析による自分の振り返り（20分）		自分の性格傾向と心の病との関連性を考えてみる
7) 交流分析の理論（基本的態度、自分を変える方法） 【復習】講義内容による自分のエゴグラムの分析（15分）		交流分析によって自分を変える方法を学ぶ
8) 交流分析の理論（エゴグラムのパターン分析による自己理解） 【復習】自分のエゴグラムのパターンからの自分の振り返り（10分）		エゴグラムのパターン分析から見た自分を知る
9) 交流分析の理論（幼少期の親子関係と12の禁止令） 【復習】幼少期の親子関係を振り返り、禁止令を分析（20分）		幼少期の親と自分の関係を振り返り、禁止令を考える
10) 心の病の概要（カウンセリング的関わりから見る心の病） 【復習】講義内容の確認（15分）		周囲に心の病の人が居る場合の対応を学ぶ
11) 心の病の概要（心の病を持つ人への接し方、関わり方） 【復習】自分の人間関係のあり方の振り返り（15分）		周囲に心の病の人が居る場合の接し方を学ぶ
12) 子どもの問題（いじめ） 【復習】自分の周辺で生じる『いじめ』への対応を考える（10分）		ワークシートを活用し、自分のいじめの捉え方を知る
13) 子どもの問題（虐待） 【復習】自分の周辺で生じる『虐待』への対応を考える（20分）		ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
14) 子どもの問題（不登校） 【復習】母子関係の問題を理解する（20分）		ワークシートを活用し、自分の不登校の捉え方を知る
15) 子どもの問題（発達障害） 【復習】発達障害の子どもたちをきちんと理解する（20分）		発達障害について知っていることを記述した後、解説
授業外学習		
心理学は、日常生活の中にあると考えるので、講義を通して、自分自身のことや、自分と周囲の人との関係性を、日常的に振り返ることが授業外の学習と考えたい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「エゴグラム・パターン－TEG東大式エゴグラムによる性格分析－」東京大学医学部心療内科編		

課題に対するフィードバック	
出席カードを活用。出席カードに、考えたことや感想、質問等を記入し、次週の講義で取り上げる	
備考	
私語を慎む 【オフィスアワー】教員名　―　中山浩行　　【携帯アドレス】 h1i6r1o6@docomo.ne.jp	

科目名	子どもの成長と発達			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	河村 靖彦、伊藤 一統、原井 輝明 、弘中 陽子、重村 美帆	関連する資格		

授業概要

人間の生涯の発達の中で、著しい成長・発達を遂げる新生児期から幼児期までの子どもに視点をおき、子どもの身体の仕組みや心身の発達、生活習慣等について理解する。さらに、現在の子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、子どもが心身ともに豊かな成長・発達を遂げていくための環境について学ぶ。また、子どもの成長・発達と遊びの重要性を理解し、具体的な子どもの遊びを実践的に学ぶことを目的とする。

到達目標

- ・乳幼児期の子どもの成長・発達について説明できる。
- ・子どもの成長・発達を促す環境整備について説明できる。
- ・乳幼児期の遊びの意義を理解し、専門教育の中で具体的な遊びを実践できる。
- ・子どもを取り巻く子育てや保育事情を理解し、専門教育の学びに活かすことができる。

成績評価方法

授業態度及び授業参加度、レポート課題等によって総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション				○	○		10
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○				10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 子供の成長と発達について オリエンテーション 【復習】授業の振り返りを行い、15回の授業を見据えた学びへの意気込みについて学習カードに書いてくる。（15分）		グループワーク(一部)
2) 乳児期の精神（こころ）の発達Ⅰ		
3) 乳児期の精神（こころ）の発達Ⅱ		
4) 子どもの育つ環境について 保育所・幼稚園の機能		
5) 乳幼児期の生活習慣について 保育所見学		演習
6) 子どもの育つ環境について 付属幼稚園見学		フィールドワーク
7) 子どもの健康と食生活		
8) 子どもの育つ環境について 家庭・地域の役割と連携		演習
9) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践		演習
10) 子どもの発達と運動遊びの意義及び実践		演習
11) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践		演習
12) 子どもの発達と表現遊び（製作）の意義と実践		演習
13) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題Ⅰ		
14) 現在の子どもを取り巻く子育て・保育事情の現状と課題Ⅱ		
15) 子どもの成長・発達について まとめ（グループ討議） 【復習】15回の授業を通して、学んだことや新たな課題として捉えたことについて、まとめてくる。（15分）		グループワーク
授業外学習		
乳幼児期の子どもに関心を持つ		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
必要に応じて、資料を配布する		栄養学各論

課題に対するフィードバック
オムニバス形式の授業のため、必要に応じて振り返り等の学習カードにコメントをつけて返す。
備考
配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること

科目名	日本国憲法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	濱本 千恵子		関連する資格	

授業概要

「日本国憲法」とは何か。その意義や目的、制定過程などについて基本的な知識を修得するための講義を行う。また、さまざまな判例や時事問題を取り上げ、人権問題について学習する。講義の際には、教員が一方的に話すのではなく、学生を順次指名して発言をうながす。
最終回の講義においては、グループ活動としてパネル報告会を実施したい（※報告会については、新型コロナウイルスの状況に応じて中止する可能性がある）。

到達目標

ナンバリング(M2110)

- ①憲法の意義や役割を説明できる。
- ②現代社会における人権問題を理解できる。また、これらの問題に対する自己の見解を他者に説明できる。

成績評価方法

定期試験および小テスト、レポート、グループワークの総合評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○		○		5
グループワーク	○	○	○		○		5
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	法とは何か（１） 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
2)	法とは何か（２） 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
3)	憲法の意義 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
4)	日本国憲法の基本原理 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
5)	国民主権と統治機構（１） 国会と内閣の役割 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
6)	国民主権と統治機構（２） 裁判所の役割 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
7)	平和主義 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
8)	基本的人権（１） 包括的人権 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
9)	基本的人権（１） 精神の自由 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
10)	基本的人権（１） 精神の自由 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
11)	基本的人権（３） 人身の自由 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
12)	基本的人権（４） 経済的自由 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
13)	基本的人権（５） 社会権 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
14)	基本的人権（６） その他の権利と国民の義務 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	講義の中で発言をうながす
15)	基本的人権（７） グループワーク：人権について考えよう 《予習》教科書および配布資料の該当箇所を読んでおく（30分） 《復習》講義の内容をまとめ、小テストを受講する（60分）	人権問題をテーマに、グループに分かれて報告会を実施
授業外学習		
《予習》教科書や配布資料の該当箇所を読んでおく。分からない文言等は調べておくこと。 《復習》講義内容に関するまとめの小テストを配付するので、次回の講義で提出すること。 ・講義の中で時事問題を扱うことがあるため、テレビや新聞でニュースを確認しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「いちばんやさしい憲法入門（第6版）」初宿正典，高橋正俊，米沢広一，棟居快行（有斐閣アルマ、2020）		

課題に対するフィードバック
備考

科目名	福祉社会			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格		

授業概要

ハンディのある人もない人も、その人らしく生活していくことができる社会（福祉社会）を実現していく上で基本となるポイントを、「隔離」「共生」といったキーワードをもとに考えていく。
 病気や障害を持つ人々に対する排除の歴史と現状を取り上げ、そこから見えてくる問題点をふまえて「共に生きる社会」づくりへの道筋について考える。
 全国身体障害者総合福祉センターでの実務経験をもとに、障害理解、障害者支援の要点について授業を行う。
 本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング（M2111）
 1. 私たちの社会はどのようにして病気や障害を持つ人々に偏見を抱き排除するようになるのか説明できる。
 2. ハンディのある人となない人が共に生きる社会をつくるために大切な事柄を説明できる。

成績評価方法

レポート、小テストによる評価

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					90
小テスト、授業内レポート	○						5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 1) オリエンテーション 【予習】令和2年に報道された「ALS嘱託殺人事件」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
2) 2) ハンセン病について① ハンセン病のことを知っていますか？ 【予習】ハンセン病とはどういう病気か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
3) 3) ハンセン病について② ハンセン病の歴史をたどる 【予習】ハンセン病の歴史を調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
4) 4) ハンセン病について③ ハンセン病回復者と高校生とのかかわりから 【予習】ハンセン病について学習したことを整理する（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
5) 5) 福祉施設が街にやってくる 施設建設反対運動について 【予習】社会福祉施設について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
6) 6) 補助犬をこばまないで 【予習】身体障害者補助犬法について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
7) 7) 見過ごされている知的障害者 【予習】知的障害について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
8) 8) 精神障害について 見えにくい障害① 【予習】精神障害とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
9) 9) 発達障害について 見えにくい障害② 【予習】発達障害とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
10) 10) バリアフリーについて 【予習】バリアフリーとは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
11) 11) 高齢社会と私たち① 高齢者の暮らしと問題点 【予習】高齢者の心身の特徴や生活上の課題について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
12) 12) 高齢社会と私たち② 人を寝たきりに向かわせるもの 【予習】「生活不活発病」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
13) 13) 高齢社会と私たち③ 認知症のお年寄りの思い 【予習】認知症について調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト
14) 14) 排除しないで共に生きるためには 【予習】「共生社会」をつくるための取り組みを調べる（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		小テスト グループワーク
15) 15) まとめ 【予習】これまで学習した内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを読み直し整理する（30分）		レポート
授業外学習		
毎回の授業内容を復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
毎回レジュメを配布する。	社会福祉論	

課題に対するフィードバック
小テストは採点の上、翌週の授業時に返却する。また必要に応じコメントを付す。
備考

科目名	ボランティア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	伊藤 一統		関連する資格	

授業概要

ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランティア・セクターの重要性について理解する。

到達目標

- ・ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など基礎的な知識を修得する。
- ・現代社会におけるボランティア・セクターの重要性と状況について理解する。
- ・ボランティア・セクターの活動への関心をもつ。

成績評価方法

課題提出（学外への調査課題を含む）50%、試験50%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○				25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○		○	○	25

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1) オリエンテーション 講義概要、日程、方針等を説明する 【予習・復習】シラバスを確認し、ノートの作成等、受講に必要なと思われる準備を行う。講義での通知事項について再認識しておくこと。	
2)	2) ボランティアとは何か① 概念と歴史 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
3)	3) ボランティアとは何か② ボランティアの現状と課題 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
4)	4) ボランタリー・セクターの役割と構造① 市民社会と新しい公共 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
5)	5) ボランタリー・セクターの役割と構造② コミュニティ、市民活動、中間支援 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
6)	6) NPO とボランティア① 非営利組織のいろいろ 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
7)	7) NPO とボランティア② 特定非営利活動促進法と NPO の活躍する社会 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
8)	8) 市民活動における中間支援① 中間支援とは何か～その意義と重要性 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
9)	9) 市民活動における中間支援② どんどころか 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	フィールドワーク（4 時間）
10)	10) NPO のマネジメント① NPO のつくりかた 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
11)	11) NPO のマネジメント② 非営利組織論の視点から 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
12)	12) NPO のマネジメント③ 事業性とソーシャル・ビジネス 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
13)	13) ボランタリー・セクターの諸側面① 公共の担い手としての NPO 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
14)	14) ボランタリー・セクターの諸側面② 協働の在り方 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	視聴覚教材視聴
15)	15) まとめ 大学生とボランティア活動 【予習・復習】講義内容に関連する報道や記事等について、関心をもって接すること。講義中で示されたテキストや資料の内容について振り返ってみること。	
授業外学習		
・非営利セクターに関する情報について関心をもって見聞すること（10 時間程度） ・学内外の実際の非営利活動に参画することが望ましい（18 時間程度）。 ・テキストを通読すること（12 時間程度） ・講義内容について振り返って学習し、わからない用語や事項等があれば、理解しておくこと（20 時		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
<テキスト> 「テキスト市民活動論－ボランティア・NPO の実践から学ぶ－」（大阪ボランティア協会） <参考文献> ボランティア、NPO 等に関する書誌全般 ＊推薦する参考文献は講義で適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック
講義中にコメントする
備考
受講の心得>「ボランティア」の意味についての理解を受講姿勢にも反映されたい。 【オフィスアワー】「オフィスアワー一覧」に掲載。まとまった質疑、相談等については、事前アポイントをとること。

科目名	日本語表現法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	河村 靖彦	関連する資格		

授業概要

小学校での実務経験をもとに、基礎的・実践的な課題や演習に取り込むことにより、日常生活や就職、レポート作成に際して必要な日本語表現を修得する。併せて保育や食物栄養に関連する漢字の修得に努める。

到達目標

- ・実用文からレポートに至るまでの文章表現ができる。
- ・レポートや会話等の表現など、目的に応じた日本語表現が適切にできる。
- ・保育・食物栄養に関連した漢字(各100字)を確実に修得する。

成績評価方法

レポート・定期試験・授業への意欲・態度による総合的な評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		10
授業態度・授業参加度		○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	日本語表現法のオリエンテーション・・・日本語表現の学び方 復習： 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
2)	書くために必要な知識①・・・アカデミックワードと日常語 復習：アカデミックワードについてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
3)	書くために必要な知識②・・・語彙を増やす 復習：他の言葉で言い換える練習（リフレーミング）（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
4)	書くために必要な知識③・・・表記と敬語についての理解 復習：敬語についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
5)	書くために必要な知識④・・・目的に応じた表現法の実践（手紙） 復習：手紙文の全体構成についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
6)	「わかりやすく正しい」日本語表現の実践①・・・実際の文章も修正演習 復習：分かりやすい語順のドリル（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
7)	「わかりやすく正しい」日本語表現の実践②・・・文章作成上の問題点 復習：事実と意見についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
8)	文章を書くための準備・・・要点のまとめ方と構成 復習：要点のまとめ方のポイントについてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
9)	「レポート」を書くために必要な知識・・・レポートの形式と表現 復習：レポートの構成等についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
10)	レポート作成法・・・レポート作成の準備と演習 復習：注や参考文献についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
11)	論文の書き方・・・論文の形式と表現 復習：論文の基本的構成及び作成の手順についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
12)	論文の実際・・・実際の論文で形式等についての理解 復習：参考文献の書き方・引用の仕方についてのドリル（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	
13)	KJ法を用いた整理法・・・わかりやすい表現の工夫 復習：KJ法についてまとめる（15分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	グループワーク
14)	効果的な文書作成①・・・エントリーシートの書き方 復習：エントリーシートについてまとめる（10分） 予習：漢字小テストのための予習（15分）	演習
15)	効果的な文書作成②・・・願書、履歴書の書き方 復習：履歴書の書き方についてのまとめ及び振り返り（15分）	演習
授業外学習		
授業計画・授業予告に沿って、テキストの該当単元を熟読しておくこと。 毎時間、授業内レポートを提出。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：プリント（毎時間配布） 参考書：「日本語表現法」沖森卓也・半沢幹一（三省堂） 「大学生のための日本語表現トレーニング」安倍朋世他（三省堂）		

課題に対するフィードバック
課題レポートは、コメントをつけて返す。
備考
宇部フロンティア大学短期大学部の学生として、自覚を持ち、主体的・意欲的に受講すること。

科目名	食生活と健康			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	末吉 奈保美		関連する資格	

授業概要

本授業は遠隔で実施する。
 保育士をめざす学生にとって、望ましい食生活と健康についての考え方、知識等について知り、健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。健康づくりに必要な知識を身につけることを目的とする。

到達目標

M1114
 健康的な食生活について、理解し実践方法を学ぶ。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	健康について考える 【予習】健康のイメージを調査する（15分） 【復習】イメージ及びノート整理（15分）	
2)	自分の食生活について考える 【予習】食事の記録（20分） 【復習】追加記録、修正（10分）	
3)	食事のバランスについて考える 【予習】食事のバランスのとり方を調べる（15分） 【復習】バランスのとり方を確認する（15分）	
4)	野菜摂取について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
5)	朝食について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】意義と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
6)	間食について考える 【予習】食事記録から現状を把握する（15分） 【復習】摂取について整理する（15分）	
7)	外食・中食について考える 【予習】語句の意味を調べる（15分） 【予習】意味と摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
8)	偏食について考える 【予習】語句の意味を調べる（15分） 【復習】意味について整理し、バランスのとれた食事の実践を確認する（15分）	
9)	食事と身体の関係について考える 【予習】生活習慣病を予防する食事を調べる（15分） 【復習】ノート整理（15分）	
10)	塩分摂取について考える 【予習】どのような食品から塩分を摂取しているか調べる（15分） 【復習】現状や摂取方法について整理し、実践につなげる（15分）	
11)	あなたに必要なエネルギーについて考える 【予習】摂取エネルギーを理解する（15分） 【復習】エネルギー出納整理、適性体重目標化（15分）	
12)	あなたの骨は大丈夫ですか～ダイエットの落とし穴～ 【予習】骨を丈夫にする生活習慣を調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
13)	あなたの腸は快調ですか 【予習】腸を快調にする生活習慣を調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
14)	食事のマナーについて考える 【予習】和食のマナーを調べる（15分） 【復習】学びを整理し、実践につなげる（15分）	
15)	食事が変われば人生が変わる 【予習】学んだことから目標を考える（15分） 【復習】実践につなげる具体的行動目標化（15分）	
授業外学習		
健康のこと、食事のことに興味を持つ。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
必要に応じて資料を配布する。		子どもの食と栄養 体育講義 健康スポーツ

課題に対するフィードバック
個別に補足する。 食事記録、朝ごはんチェック、食事バランス等については、後日にデータ・グラフ化し解説する。
備考
配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】 決定後別途掲示 末吉奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	生命の科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	星野 晋	関連する資格		

授業概要

生命科学（ライフ・サイエンス）は、人間をはじめとする生き物の仕組みと「生」のいとなみ、すなわち生命現象を科学的に探求する学問である。また同時に、生命をめぐるさまざまな技術、その社会的活用の可能性と問題点を検討する総合的・学際的研究分野でもある。本講義では、生命のみならず人生、生活をも意味する「Life」という言葉をキーワードに、不妊治療、臓器移植、少子高齢化問題等の生命科学上の諸課題について理解を深める。そしてそれらの課題と直面し乗り越えることを迫られた際に、その前提となる自身や他者の「生」とどのように向き合っていけばいいのか、自ら考えられるようになることを目指す。

到達目標

ナンバリング(M1115)
 ・生命の科学（ライフ・サイエンス）がどのような分野であるかを説明できる。
 ・不妊治療や臓器移植など、今日話題になっている生物学由来の技術とその課題について説明できる。
 ・生物学にもとづく新技術が、近年どのような社会問題を引き起こしているかを説明できる。
 ・生命科学上の課題に対して、どのように解決したらいいか、自分の意見をもち、他者に根拠を示しつつ表明できる。
 ・私たちのLife（生命、いのち、暮らし、人生）の現在と将来について、自分なりの考えを根拠を示しつつ表明できる。

成績評価方法

受講態度（10%）
 コメントシート（授業内レポート）（10%）
 グループワーク（10%）
 定期試験（70%）
 2/3 以上の出席を成績評価の条件とする

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク					○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：Lifeとは何か【復習】レジュメやノートを読み返し、ライフサイエンス（生命科学）とはどのような分野で、今日これを学ぶことにどのような意義があるかについて理解・確認しておく（40分）	コメントシート
2)	不妊症と生殖補助医療 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
3)	生殖補助医療の課題1：親子 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
4)	生殖補助医療の課題2：どこから人とみなすか 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
5)	臓器移植をめぐる問題：グループ・ワーク 【予習】臓器移植についての自身の見解とその根拠を考えてくる（40分） 【復習】レジュメやノートを読み返し、自身の理解を確認しておく（40分）	グループ・ディスカッション コメントシート
6)	臓器移植をめぐる問題：臓器移植法の現在 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
7)	患者の自己決定権とインフォームド・コンセント 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
8)	輸血をめぐる文化摩擦 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
9)	人体解剖にみる西洋医学の考え方 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
10)	国際医療協力と文化摩擦 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
11)	病気とは何か：文化と医療 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
12)	病むことの物語 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
13)	超高齢社会を生きるために 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
14)	作られた健康、創り出す健康 【復習】レジュメやノートを読み返し、トピックについての理解を確認しておく。わからないことは次回質問できるように用意する（40分）	コメントシート
15)	総括・振り返り【予習】レジュメやノートを読み返し、わからないこと等を質問できるようにしておく（60分）【復習】授業全体を振り返り、内容理解を確認するとともに、トピックごとに自分の意見をまとめておく（60分）	振り返りシート
授業外学習		
テレビ、新聞、ウェブ等で、あらゆるジャンルのニュースに触れ、人間の「Life：生命・人生・生活」のあり方について考え、自分の意見をもつようにしてください。またそのことについて、友人や家族と語り合ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは用いない。参考書は随時提示する。		

課題に対するフィードバック

コメントシートに書かれた質問等に対する回答を次回授業でシェアする

備考

自分の頭で考え、意見を持ち、他者と意見交換や議論ができるようになることを目指して受講すること【オフィスアワー】授業の前後で対応する。

科目名	生活と情報			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	門間 政亮		関連する資格	

授業概要

【遠隔授業】

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、インターネットを通じて触れる機会が多々あります。本講義では、情報とはそもそも何か、どのような仕組みで利用しているのか、またどうやって守られているかを学ぶとともに、どうやって扱えばよいのかを理解して、社会における一利用者としての必要な情報倫理を身につけます。また、身につけた知識を他者にわかりやすく伝達することができるよう、プレゼンテーション能力を養います。

到達目標

- 1) 情報の定義、インターネットの仕組み、情報セキュリティについて理解し、説明することができる。
- 2) 情報社会で必要な情報倫理について理解し、説明することができる。
- 3) 身につけた知識を、他者にプレゼンテーションすることができる。

成績評価方法

期末定期試験、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			40
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】、【情報とは 1】 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
2)	【情報とは 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
3)	【情報とは 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
4)	【情報とインターネット 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
5)	【情報とインターネット 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
6)	【情報とインターネット 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
7)	【情報セキュリティ 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
8)	【情報セキュリティ 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
9)	【情報セキュリティ 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
10)	【個人情報保護 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
11)	【個人情報保護 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
12)	【個人情報保護 3】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
13)	【著作権 1】 【予習】トピックの情報検索（10分） 【復習】発表用の情報検索（10分）	
14)	【著作権 2】 【予習】発表用の情報検索（10分） 【復習】発表準備（10分）	
15)	【著作権 3】、【総括】 【予習】発表準備（10分） 【復習】発表内容のまとめ（10分）	プレゼンテーション
授業外学習		
授業で扱ったトピックについて、授業外でも関心を持ち情報検索を行ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
データを適宜配布します。		保育学科：情報機器の操作 食物栄養学科：栄養情報処理、パソコン演習Ⅰ、パソコン演習Ⅱ

課題に対するフィードバック
授業内で解説を行います。
備考
・ 授業は講義形式ですが、それぞれのトピックで情報検索を行い、検索した内容についてのスライドを作成して発表していただきます。必ず毎回出席するようにしてください。 ・ 授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	体育講義			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	1	1年	前期
担当者名	弘中 陽子		関連する資格	

授業概要

病気がなく、心とからだが健やかな状態であることを健康という。まさに、健康は人間誰しもが望むところである。健康な心とからだを維持し、生き生きとした生活を送るためには未然に疾病等を予防することが大切と言われている。そのひとつとして、適度な運動を続けることが挙げられている。

本講義では、身体活動・運動の視点から、自分自身の健康のあり方を歩数や体脂肪率、筋肉量等の測定値を通して見つめ直し、生涯にわたる健康的なライフスタイルを確立するための実践方法を修得できることを目的とする。

到達目標

- ・現在の自分の健康に関する課題に気づき、将来の自分の姿を想定し、今後の健康でいきいきとした豊かな生活のための健康づくりプランを考えることができる。
- ・日常生活における身体活動・運動を通じた自分の健康観を説明できる。

成績評価方法

- ・定期試験
- ・授業内レポート（毎授業のふりかえりシート）
- ・授業外レポート（1週間活動記録表）
- ・授業態度・授業参加度（ハラスメントクレイション参加態度）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度			○	○	○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	健康とは 自分の健康観について考える・歩数の計測について 【予習・復習】活動目標を考える・現在の自分の身体活動・運動について記録する（60分）	
2)	わが国の健康事情 認知症予防から学ぶ(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
3)	身体活動・運動と健康 運動不足による疾病のリスクについて(DVD) 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
4)	身体活動量を高める方法について 前半の自分の身体活動について見つめる 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
5)	生涯におけるスポーツ活動について① （障がい者スポーツの意義） 【予習・復習】活動目標を考える・1週間の歩数を記録する（60分）	
6)	生涯におけるスポーツ活動について② /（障がい者スポーツの実際・安全管理） 【予習・復習】活動目標を考える・パラスポーツのふりかえりを記入する（60分）	
7)	健康づくりプランを考える /健康的なライフスタイルのために 【予習・復習】自分に合った健康づくりプランを考える（60分）	
8)	授業のまとめ・学びのふりかえり	
9)		
10)		
11)		
12)		
13)		
14)		
15)		
授業外学習		
自分の普段の生活をみつめ、身体活動量を知りましょう。そして、身体活動量を高める自分なりの方法を探しましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜、資料を配付する		・健康スポーツⅠ ・健康スポーツⅡ

課題に対するフィードバック
翌週にコメントをつけて返す
備考

科目名	健康スポーツⅠ						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実技	選択	1		1年	前期		
担当者名	和田 康夫		関連する資格				
授業概要							
子どもの取り巻く環境は、大きく変化してきており、体を動かす習慣が次第に失われ、運動する子どもとしない子どもの二極化が社会問題になっているといっても過言ではない。体を動かすことによって、健康や体力の保持増進に限らず、コミュニケーション能力などのこころの発達にも大きな影響をもたらすことを指導者が理解しておくことは重要なこととなる。本授業では、幼児期からの運動遊びやスポーツを窓口に、自らスポーツを楽しむだけにとどまらず、スポーツや運動遊びの効果について学ぶ機会とする。							
到達目標				成績評価方法			
ナンバリング(M1118) ・幼児期からの運動習慣の必要性を理解し、創造的に運動遊びやスポーツを積極的に行おうとする関心や態度をもてるようにする。 ・仲間とともにスポーツをする楽しさを味わい、遊びのアレンジについて理解する。 ・多様な動きのある運動遊びの実践を通して学び、仲間と一緒にアレンジしていくことで、スポーツの楽しさを味わう。				・授業内レポート ・授業外レポート ・運動遊び大会のプレゼンテーション ・授業への参加態度			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション（受講上の留意点・授業計画・評価方法など） 復習：授業の流れや目標について理解する。 予習：ＡＣＰの意義について調べる。		
2) ＡＣＰの実践（アイスブレーキング・新聞紙など） 復習：ＡＣＰの理論と実践について、ふりかえりシートに記入 予習：ソフトバレーボールの基本ルールについて調べる		
3) ＡＣＰの実践（鬼遊び・ボールを使って）ソフトバレーボール① 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ソフトバレーボールの反則となるルールを調べる。		
4) ＡＣＰの実践（ボールを使って・ケンパ）ソフトバレーボール② 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ソフトバレーボールの練習方法を調べる。		
5) ＡＣＰの実践（ボールを使って・ジャンケン）ソフトバレーボール③ 復習：ふりかえりシートの記入 予習：バドミントンの基本ルールを調べる。		
6) ＡＣＰの実践（用具を使って）バドミントン① 復習：ふりかえりシートの記入 予習：バドミントンのスキルについて調べる。		
7) ＡＣＰの実践（投力・バランス）バドミントン② 復習：ふりかえりシートの記入 予習：サッカーのルールを調べる。		
8) ＡＣＰの実践（新聞紙） サッカー① 復習：ふりかえりシートの記入 予習：障がい者スポーツ（パラスポーツ）について調べる。		
9) ＡＣＰの実践（風船） 風船バレー ポッチャ（ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入 予習：人間関係づくりについて、その種類や行い方を調べる。		
10) 人間関係づくり体験（ＰＡ）風船バレー ポッチャ（ペタンク） 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ＡＣＰの指導するにあたっての留意点をまとめる。		人間関係づくりプログラム
11) ＡＣＰ教室の指導案づくりに役立つ実践 復習：ふりかえりシートの記入 予習：ＡＣＰ教室プログラム作成		
12) ＡＣＰ教室①：幼児対象のＡＣＰを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する。		ＡＣＰの模擬授業
13) ＡＣＰ教室②：幼児対象のＡＣＰを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する		ＡＣＰの模擬授業
14) ＡＣＰ教室③：幼児対象のＡＣＰを企画し、模擬指導を行う 復習：指導についての気づきなどを記入する		ＡＣＰの模擬授業
15) ＡＣＰの理論と実践のまとめ 復習：授業の取組についてふりかえる。		ＡＣＰの模擬授業
授業外学習		
遊びのアレンジを実践しておきましょう。 ＡＣＰ普及講習会（６月）やＡＣＰ教室に参加してみましょう。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
ＡＣＰガイドブック（ＪＳＰＯ編）	健康スポーツⅡ	

課題に対するフィードバック
備考

科目名	健康スポーツⅡ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実技	選択	1	1年	前期
担当者名	弘中 陽子	関連する資格		

授業概要

スポーツは私たち人間にとって、肉体的にも精神的にもさらに、人との繋がり、仲間づくりといったコミュニケーションの促進にも有益であると言われている。
 本講義では、「だれもが、いつでも、どこでも、気軽に参加できる」スポーツをテーマに、競うことよりも楽しむことを主としたニュースポーツ（ニュー・コンセプチュアル・スポーツ）を仲間と共に楽しみながら主体的に取り組むことを目的とする。

到達目標

M1119
 ・準備から後片付けに至るまで、何事にも主体的に取り組むことができる。
 ・他の受講生にも、積極的に関わりをもち、からだを動かす楽しさや心地よさを仲間と共に共有することができる。
 ・健康で、豊かな生活が送れるよう、生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するための方法を見つける。

成績評価方法

- 授業内レポート（ふりかえりシート）
- 授業外レポート
- 授業態度・参加度（服装、身だしなみ等含む）
- プレゼンテーション（スポーツ大会グループごとに企画）

以上を総合的に評価をする

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							30
宿題、授業外レポート							30
授業態度・授業参加度							30
プレゼンテーション							10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション（授業計画・授業評価等について） 【予習】シラバスを熟読する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
2)	インディアカ 【予習】インディアカのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
3)	ソフトバレーボール 【予習】ソフトバレーボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
4)	フリーテニス 【予習】フリーテニスのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
5)	シャッフルボード・ペタンク・フライングディスク 【予習】ペタンクのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
6)	キンボール 【予習】キンボールのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
7)	フライングディスク（アルティメット） 【予習】アルティメットのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
8)	ユニバーサルホッケー 【予習】ユニバーサルホッケーのルールを理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
9)	チャレンジ・ザ・ゲーム 【予習】チャレンジ・ザ・ゲームについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
10)	野外でのスポーツ活動① 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
11)	野外でのスポーツ活動② 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
12)	野外でのスポーツ活動③ 【予習】ウォークラリーについて理解する（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
13)	スポーツ大会の企画① 【予習】スポーツ大会企画、及びプレゼンテーションを考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
14)	スポーツ大会の企画② 【予習】チームで勝つための練習を考える（30分） 【復習】振り返りシートを記入し、活動を振り返る（30分）	
15)	スポーツ大会・授業のまとめ「生涯を通じて楽しく、心地よくスポーツ活動を実践するためには」 【予習】チームで一致団結する方法を考える（30分）（30分） 【復習】生涯通じて楽しくできるスポーツ活動を考える（30分）	
授業外学習		
普段の生活の中でからだを動かすこと（スポーツ活動・身体活動）を取り入れてみましょう。 自分の住んでいる地域等で開催されているスポーツイベント（するスポーツ・みるスポーツ）に参加してみましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
なし		健康スポーツⅠ

課題に対するフィードバック
翌週にコメントをつけて返却する
備考
本授業は、旧短期大学部のある「第2体育館」にて授業を行います。場所を確認し、安全に十分に気を付けて移動してください。尚、体育館内には、更衣室があります。

科目名	国際現地研修			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	2	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

本学と学術協定を結んでいる海外の大学への研修あるいは交換留学などのプログラムに参加した者に対して単位を授ける。この単位に関しては、30日以内のプログラムが対象となる。単位認定の前提条件としては、プログラム参加前に科目登録を行い、留学前の指導を受けるものとする。留学後は報告書を提出してもらう。

到達目標

- ・ 留学先の情報を積極的に収集し、滞在中の活動を自らアレンジできる。
- ・ 異文化を理解し、外国での体験を具体的に伝えることが出来る。

成績評価方法

事前指導、海外研修、海外研修レポート、事後指導への参加状況を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習			○		○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
1) ～15)留学前と留学後に適時指導を行う。 指導内容は留学前の心構え・準備から留学中に注意すべき事柄に及ぶ。留学後は反省会を開き、留学体験のフィードバックを行うことによって、プログラムの改善に寄与してもらう。また、将来のプログラム参加者のために学内で随時報告会を催す。この科目の単位取得者に対しては、自らの体験の発表の場としての報告会への積極的参加を促す。また、この科目を受け入れ留学生が希望した場合は、別途日本語の授業を通して日本語能力の向上を目指す。 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	グループワーク
授業外学習	
渡航先の地理・文化・生活様式などを調べておくこと。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
各自で留学先のガイドブック等を購入してもらいたい。	国際交流プランニング

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
この授業の単位は海外研修への参加を要件とする。

科目名	国際交流プランニング			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

遠隔授業を行う。GoogleClassroomを使い、授業ビデオをアップロードし、テキストに基づく授業内容の説明と課題の指示を行い、併せて資料の提示を行う。
異文化理解の意義、交流の必要性を学び、実際に留学生と交流し、サポートをするに際して必要な生活上の問題、日本文化や日本語関連の知識を習得する。

到達目標

- ・外国人留学生のフレンドシップパートナーやピアサポーターの役割が果たせる。
- ・交流に当たって必要となるさまざまな事柄を学習する。

成績評価方法

講義への参加度、レポート、プレゼンテーション及びグループワークで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			20
プレゼンテーション	○	○					30
グループワーク	○	○	○	○			20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 異文化理解の意義 日本文化を知る 映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
2) 異文化理解の意義 日本文化を知る 映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
3) 異文化理解の意義 日本文化を知る 映像と資料 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
4) 日本文化を概略的に知るために 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
5) 日本人の言語行動 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
6) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
7) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
8) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
9) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
10) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
11) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
12) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
13) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
14) パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーション 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
15) まとめ 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		グループワーク
授業外学習		
パワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションの準備をしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回講義においてプリント等を配布する。		国際現地研修

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
この授業の単位の要件はパワーポイントを使った自国の文化に関するプレゼンテーションとする。

科目名	スタンダード英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	竹山 恵里	関連する資格		

授業概要

英語のアクティビティーを通して、基礎的な文法・会話を養成する。
本授業は対面で実施する。(状況によっては遠隔に変更する場合もある)

到達目標

ナンバリング(M1120)
中学・高校時代に培った英語力を、様々な活動を行うことによってスムーズに発話できるようにする。

成績評価方法

期末試験60点＋授業態度・授業参加度20点＋小テスト20点＝100点満点 毎回プリントを配付・提出
(紛失しても再配付はなく、減点となる)

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○						20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度				○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 仲間作り・自己紹介 【復習】自己紹介文を書く・暗記する（20分）		与えられた簡単なQ&Aを通し、クラスメートを知る
2) フォニックスの基礎（日本語の音との違いを知る） Be動詞と一般動詞の使い分け 【予習】一般動詞30以上挙げる（ルーズリーフに書く）(20分) 【復習】フォニックス発音、その音で始まる単語を書き出す(20分)		ペアで口の形・筋肉・息の出方をチェックする
3) 時制（過去・未来）を使った自己紹介：ワードオーダー（語順）の日英差 【予習】自己紹介文+1日の活動を時間軸に従い書く(30分) 【復習】動詞の過去形を覚える(20分)		簡単な自分史・目標を仲間とシェアする
4) 世界の国々：疑問詞文・数字 【予習】世界の国々とその首都を表にする(30分) 【復習】大きい数字の読み方を英語で書く(20分)		国旗を使い、その国の人間になり、情報交換をする
5) 旅行計画： 未来形で計画を表現 【予習】国内・外の観光地について調べる(20分) 【復習】旅行計画をレポート的に書く(30分)		5W1Hで相手の旅行計画を聞きだす・経験をシェア
6) 旅行に関する英語（機内・入管）：リスニング、発音、発話の強化 【予習】機内での会話を暗記する(30分) 【復習】入管での会話を暗記する(30分)		海外旅行での機内・入管での会話をロールプレイする
7) 朝起きてから寝るまでの英語（1）： 動詞変化の整理・疑問詞文 【予習】朝起きてから寝るまでの行動を現在形で書く(30分) 【復習】朝起きてから寝るまでの行動を過去形で書く(30分)		1日の自分の行動を整理し、友人との違いをシェアする
8) 朝起きてから寝るまでの英語（2）： 頻度の副詞・時の前置詞整理 【予習】頻度の副詞を書き出す(10分) 【復習】日頃の習慣を頻度の副詞を使って書く(30分)		副詞・前置詞で文に広がりを与え、お互いを深く理解する
9) 家族・友達紹介（親族の呼称・人称の整理） 【予習】自分の家系図を描く(10分) 【復習】家族の趣味や性格などを一覧表にする(30分)		自分の家族のことをお互いに紹介しあう
10) 疑問詞文・助動詞文の整理 【予習】助動詞を書き出し、例文を作る(20分) 【復習】疑問詞+助動詞を組み合わせ作文する(20分)		Q&Aを再度整理し、正しい情報を伝える
11) わたしの家・町・国：前置詞・形容詞の整理 【予習】形容詞を家・町・国、それぞれマインドマッピングする(20分) 【復習】「理想の私の家」について作文する		自分の身の回りを見直し、比較、再認識する
12) 好きな本の紹介 【予習】一番好きな本を読んでくる(30分) 【復習】他に好きな本について作文する(30分)		好きな本についてのQ&A
13) 絵本読み聞かせ 【予習】好きな本の一部分を徹底的に読む(20分) 【復習】「読み聞かせに使った本」を写す(30分)		読むだけでなく、聞き手の感想を受け、さらに読み込む
14) 現在完了形で経験を表現：将来の希望を未来形、または仮定法で表現 【予習】動詞の過去分詞形（原形・過去形も）を表にする(15分) 【復習】自分の経験を完了形を使って作文する(30分)		経験を話す。未経験なことへの希望を話し作文する
15) 文法整理・総復習 【予習】予習：使用したプリントを整理する(30分)		
授業外学習		
毎回、授業プリントを使用して復習をする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリント配付・辞書必携		

課題に対するフィードバック
理解が難しかった部分を小テストし、満点が取れるまでくり返し教授し、納得させる。
備考
期末試験の再試験は行わず、それに代わるレポート提出も行わない。 予習・復習（家庭学習）の達成度は成績の30%を占める。

科目名	編入対策英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	編入試験問題（英語）の特徴について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	編入試験問題（英語）への対策について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	どうしたら英語の能力が向上するかを考える 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	様々な英語の楽しみ方 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	英語習慣化の提言 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	演習問題1 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	演習問題2 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	演習問題3 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	演習問題4 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	演習問題5 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	演習問題6 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	演習問題7 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	演習問題8 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	演習問題9 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	まとめと今後の学習について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。 紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。		スタンダード英語

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
この科目は、半期開講科目で単位取得になります。通年科目ではありません。 前期にこの科目を受講して単位を取得し、後期に引き続きこの科目の受講を希望する者は、学生支援課で「特別履修」の手続きをしてください。その場合、受講はできますが単位取得はできません。 連絡先： uchiumi@frontier-u.jp

科目名	編入対策英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。大学編入対策としての英語を学びながら、日常生活や異文化理解、職場や地域社会を話題としたリーディング及びライティングをパラグラフ単位で理解する能力を身に付ける。さらに、視聴覚資料の活用及び語彙、語法理解を深めることにより、スピーキング及びリスニング能力の向上を図り、現在の世界に不可欠とされる英語によるコミュニケーション能力を向上させる。

到達目標

大学編入を希望する学生が、編入試験（英語）に十分対処できるレベルの英語運用能力を身に付ける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	編入試験問題（英語）の特徴について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	編入試験問題（英語）への対策について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	どうしたら英語の能力が向上するかを考える 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	様々な英語の楽しみ方 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	英語習慣化の提言 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	演習問題1 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	演習問題2 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	演習問題3 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	演習問題4 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	演習問題5 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	演習問題6 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	演習問題7 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	演習問題8 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	演習問題9 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	まとめと今後の学習について 与えられた課題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。 紙の辞書または電子辞書にかかわらず、自分にあった辞書を使いこなすことを常に心がけてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは購入しなくてもよい。毎回プリント問題等を配布し授業を行う。		スタンダード英語

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
この科目は、半期開講科目で単位取得になります。通年科目ではありません。 前期にこの科目を受講して単位を取得し、後期に引き続きこの科目の受講を希望する者は、学生支援課で「特別履修」の手続きをしてください。その場合、受講はできますが単位取得はできません。 連絡先： uchiumi@frontier-u.jp

科目名	オーラル英語			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	針間 サラン		関連する資格	

授業概要

This course will help you to improve your spoken English in a variety of everyday situations, focussing on travel.

このコースで色々な場面、特に旅行に使う英会話力の上達を目指します。

到達目標

ナンバリング(M2114)

Students will learn casual conversational English and learn phrases necessary for travel abroad.

日常英会話と旅行英語に必要な表現を学びます。

成績評価方法

Students attending this course will be evaluated according to their class participation, attendance and test results. 授業参加、授業中の発表、態度、努力、試験の結果によって評価されます。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○		○		30
小テスト、授業内レポート	○		○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オーラル英語の紹介・説明Introduction テキストの紹介 Where are you from? 出身はどこですか 【復習】 ページ4-7の確認 （30分）		グループワーク
2) Classroom Language 教室英語 How long are you staying? Immigration入国審査 【復習】 ページ8-11の確認 （30分）		グループワーク
3) Nice to meet you. 初めまして。 【復習】 ページ12・13の確認 （30分）		グループワーク, 課題
4) What time is Dinner? Hotel ホテルの英語【復習】 ページ16・17の確認 （30分）		グループワーク
5) It's a kind of jacket. Explaining Japanese Culture 日本の文化の説明 【復習】 ページ18・19の確認 （30分）		グループワーク
6) How was it? Describing Events イベントの感想を述べる 【復習】 ページ22・23の確認 （30分）		グループワーク, 課題
7) Help yourself. Meal time 食事の言葉 Roleplay Test 1Explanation and Preparation ロールプレイテスト 1の説明と準備 【復習】 ページ24・25の確認 （30分）		グループワーク
8) Roleplay Test 1 ロールプレイテスト実施【復習】 これまでに学習したテキスト （30分）		ロールプレイテスト
9) I'd like 15 tickets please. 切符の購入 【復習】 ページ26・27の確認 （30分）		グループワーク, 課題
10) Can I have a towel, please? 宿での依頼 Are you into music? Hobbies and Interests 趣味 【復習】 ページ28-31の確認 （30分）		グループワーク
11) Tell me about your family. 家族について 【復習】 ページ36・37の確認 （30分）		グループワーク
12) I'm hungry! Ordering Food 料理の注文 【復習】 ページ38・39の確認 （30分）		グループワーク, 課題
13) What are you doing tomorrow? 明日の予定 【復習】 ページ40・41の確認 （30分）		グループワーク
14) How much is it? いくらですか Roleplay Test 2 Explanation and Preparation ロールプレイテスト 2の説明と準備 【復習】 ページ42・43の確認 （30分）		グループワーク
15) Roleplay Test 2 ロールプレイテスト実施 【復習】 試験の復習プリント （120分）		ロールプレイテスト
授業外学習		
Review and practice the material covered in the previous week's lesson before each class, and complete any assignments or preparation for role plays tests. 全授業の復習、必要なら課題やロールプレイテストの準備・練習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
My First Passport 1 (2/E)English for International Communication		スタンダード英語

課題に対するフィードバック
課題は翌週コメントをつけて返します。
備考
【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	公衆衛生学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	城野 世津子	関連する資格	栄養士免許 必修 フードコーディネーター資格 必修	

授業概要

本授業は対面で実施する。

公衆衛生学の全体像を理解し、今日人類が直面している公衆衛生学上の諸問題を把握する。健康について社会・環境の面から多角的に捉える。そのために疫学および衛生統計を基礎として、各種の疾患をライフスタイルや環境との関わりから理解する。さらに身近な環境汚染について理解し、解決策を検討する。公衆衛生が多職種の人により支えられていることを理解し、栄養士の立場での対応を考える。

到達目標

ナンバリング（M3101acg）

1. 公衆衛生学上の諸問題を把握する
2. 健康について社会・環境との関わりを理解する
3. 疫学、衛生統計の基礎を理解する

卒業認定・学位授与の方針との関連性

健康について社会・環境の面から多角的に捉え、栄養士として公衆衛生学の諸問題を改善するための知識及び対応方法を身につけることができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業内レポート、授業外レポート、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 公衆衛生学の概念 【予習】テキストp1～9を読んでおく(10分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分)		
2) 環境保全① 生態系と人々の生活 【予習】テキストp11～15を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
3) 環境保全② 環境汚染と健康影響 【予習】テキストp15～19を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
4) 環境保全③ 環境衛生 【予習】テキストp19～26を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
5) 健康、疾病、行動に関わる統計資料① 保健統計 【予習】テキストp29～36を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（環境保全）
6) 健康、疾病、行動に関わる統計資料② 保健統計 【予習】テキストp36～43を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
7) 生活習慣の現状と対策（課題） 食習慣調査 【予習】テキストp63～82を読んでおく(30分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（保健統計） 課題レポート
8) 主要疾患の疫学と予防対策① 【予習】テキストp45～53を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
9) 主要疾患の疫学と予防対策② 【予習】テキストp85～96を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
10) 健康状態・疾病の測定と評価① 【予習】テキストp97～103を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（主要疾患の疫学と予防対策）
11) 健康状態・疾病の測定と評価② 【予習】テキストp103～113を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
12) 保健・医療・福祉の制度① 【予習】テキストp115～126を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（健康状態・疾病の測定と評価）
13) 保健・医療・福祉の制度② 【予習】テキストp126～144を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
14) 保健・医療・福祉の制度③ 【予習】テキストp145～166を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（保健・医療・福祉の制度）
15) まとめ 【予習・復習】小テスト及び復習小レポートを確認しておく(30分)		課題レポート
授業外学習		
毎回の講義範囲について予習・復習を継続すること。 最新の公衆衛生に関する情報を意識すること。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「社会・環境と健康2021年版」武山英麿・中谷弥栄子著（第一出版）	公衆栄養学	

課題に対するフィードバック
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。内容が不十分な場合は、再提出とします。
備考
【オフィスアワー 未定 】城野 世津子sirono@ube-c.ac.jp

科目名	社会福祉論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	近藤 鉄浩	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

現代社会における社会福祉の意義や基本的な考え方を学び、子ども、障害者、高齢者、低所得者といった対象者ごとの福祉の現状について理解を深める。
 全国身体障害者総合福祉センター、老人保健施設、病院でのソーシャルワーク実務経験をもとに、福祉の対象理解、社会福祉援助の要点について授業を行う。
 本授業は対面により実施する。

到達目標

ナンバリング（M4101ag）

1. 社会福祉の意義と必要性について理解できる。
2. 社会福祉制度の基本的なしくみについて理解できる。
3. 現代社会の福祉的な課題に対する援助の視点について理解できる。

成績評価方法

定期試験、小テストにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					90
小テスト、授業内レポート	○						5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1) オリエンテーション 食物栄養学科学生と社会福祉との関係 【予習】栄養士と社会福祉の関係について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
2)	2) 社会福祉とは何か 【予習】社会福祉とは何か調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
3)	3) 現代における社会福祉の課題 【予習】「貧困率」「虐待」「孤立死」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
4)	4) 社会福祉の理念 【予習】「人間の尊厳」という言葉について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト グループワーク
5)	5) 社会福祉の基本的なしくみ 【予習】「福祉六法」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
6)	6) 社会保障制度について 【予習】「社会保障制度」にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
7)	7) 社会福祉施設について 【予習】「社会福祉施設」にはどのようなものがあるか調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
8)	8) 社会福祉の援助のしかた 【予習】「ソーシャルワーク」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
9)	9) ハンディのある方への介助のしかたについて 【予習】目の不自由な人への介助のしかたについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト 実技
10)	10) 低所得者の福祉① 【予習】「生活保護制度」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
11)	11) 低所得者の福祉② 【予習】「捕捉率（ほそくりつ）」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
12)	12) 子ども家庭福祉 【予習】「子どもの権利条約」について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
13)	13) 障害者の福祉 【予習】障害の種類と内容について調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
14)	14) 高齢者の福祉 高齢者介護の昔と今 【予習】高齢者介護の問題点、ダブルケアについて調べる（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	小テスト
15)	15) まとめ 社会福祉の課題 【予習】これまで学習した内容を振り返る（30分） 【復習】授業プリントを見直し整理する（30分）	
授業外学習		
毎回の授業内容を授業プリントにより復習し、到達目標と照らしあわせて要点を理解すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回レジュメを配布する。		公衆衛生学、福祉社会

課題に対するフィードバック
小テストは採点の上翌週に返却する。また必要に応じコメントを付す。
備考

科目名	解剖生理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	岡野 こずえ	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は対面で実施する。私たちの体は、約60兆個の細胞から成り立っている。それぞれの細胞は分化し、集団を形成して組織となり、組織が組み合わさって器官（臓器）になっている。各器官系の構造と機能を学ぶとともに、生体の内部環境の恒常性を維持する仕組み、生体を防御するしくみ、生命の継代および老化のしくみ等を学ぶ。最後に、学んだ理論が実際に身体で繰り広げられている生命活動と如何に結びついているかを理解するために、この授業内容をテキストに沿って講義する。

到達目標

ナンバリング(M2101a)
栄養学を学ぶ学生にとって必要とされる人間の構造と機能の関連性が理解できることを目標とする。

成績評価方法

毎回の出席数と中間・期末試験の成績から総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	◎	◎	◎				80
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、1章：細胞、組織【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
2)	第1章：血液 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
3)	第2章：呼吸器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
4)	第2章：呼吸器、第3章：循環器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
5)	第3章：循環器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
6)	第4章：消化器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
7)	第4章：消化器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
8)	前半の章についての試験	
9)	第5章：泌尿器・生殖器・内分泌器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
10)	第5章：泌尿器・生殖器・内分泌器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
11)	第5章：泌尿器・生殖器・内分泌器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
12)	第6章：骨・筋肉 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
13)	第7章：神経 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
14)	第7章：神経、第8章：感覚器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
15)	第8章：感覚器 【予習・復習】予習は、教科書の当日の章を読んで来る（30分程度）。復習は、授業の後の小テストで知識の確認を行う（20分程度）。	復習を兼ねた小テスト
授業外学習		
授業内容に興味を持たせるために、予習として教科書を一読させる（30分程度）。スライド授業をした後で、復習を兼ねた小テストから授業内容および、関連科目の理解度と興味を増強させる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：「眼でみるからだのメカニズム 第2版」、堺章著、医学書院、参考書：「解剖生理学 人体の構造と機能 第2版：栄養科学NEXTシリーズ」（講談社サイエンティフィック）河田光博／三木健寿・編		生理学、運動生理学、栄養学、臨床栄養学

課題に対するフィードバック
毎回、授業の終わりに出席確認と復習を兼ねた小テストを行い、その日の知識の整理・確認を行わせる。
備考
栄養科学シリーズ・解剖生理学に沿ってスライド形式で講義をする。 毎回、授業の終わりに出席確認と復習を兼ねた小テストを行う。 【オフィスアワー】授業の前後で対応する。

科目名	運動生理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	塩田 正俊	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

身体活動・運動が健康に及ぼす影響および生活習慣病予防・改善、介護予防のための身体活動・運動の具体的な運動条件や実施上の注意点について概説する。また、その理解の基礎となる運動生理学的事項について概説する。

到達目標

ナンバリング(M3102a)
身体活動・運動が健康に及ぼす影響について説明できる。健康づくりのための身体活動・運動の具体的な条件やガイドライン、実施上の注意点について説明できる。身体活動・運動時の消費エネルギーの計算が電卓を使ってできる。これらの基礎となる運動生理学的事項について理解し、理解した内容をもとに、健康づくりのための身体活動・運動の具体的な条件やガイドライン、実施上の注意点について考えることができる。

成績評価方法

期末定期試験、授業内・外レポート、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	身体活動・運動と健康 【予習】教科書p1～p11、健康・体力とはなにか。健康維持に必要な体力とはなにかを読む。(30分)【復習】体力の要素およびその測定法についてまとめる。(30分)	ペアワーク
2)	健康づくりのための身体活動・運動(健康運動)の基本的考え方とその流れ 【予習】教科書p11～p17を読む。生活の中の健康阻害因子及び運動不足では体に何が起るか、を調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
3)	健康運動を理解するための運動生理学(エネルギー代謝)【予習】教科書p38～p54を読む。健康運動を行うことで得られる効果とは何か。生活習慣病との関連から調べておく。(30分)【復習】(30分)	ペアワーク
4)	健康運動を理解するための運動生理学(呼吸・循環)【予習】教科書p54～p57を読む。健康運動を行う上で必要なエネルギー源と供給経路を調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
5)	健康運動を理解するための運動生理学(神経・筋)【予習】教科書p70～p77を読む。健康運動を行う上で神経・骨格筋はどのような役割を果たすのか、を調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
6)	健康運動を理解するための運動生理学(自律神経・内分泌、体温調節)【予習】教科書p83～p86を読む。健康運動を行う上での自律神経・内分泌系はどのような役割を果たすのか。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
7)	健康運動の具体的条件(運動種目)【予習】教科書p124～p130を読む。健康運動を行う上での運動種目及び使うエネルギーの違いを調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
8)	健康運動の具体的条件(運動強度1)【予習】教科書p130～p135を読む。健康運動を行う上で重要な運動の基本的3条件のうち運動強度について調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク 心拍数の測定実習
9)	健康運動の具体的条件(運動強度2、消費エネルギー計算を含む)【予習】教科書p135～p137を読む。運動の強さによって消費エネルギーはどのように変わるか。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク エネルギー計算演習
10)	健康運動の具体的条件(運動時間、運動頻度)【予習】教科書p137～p141を読む。健康運動の成果を得るうえで運動の3条件のうち、運動時間・運動頻度について調べておく(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク 減量プログラムの作成演習
11)	健康づくりのための身体活動・運動のガイドライン【予習】健康づくりのために用いられているガイドラインをまとめておく(健康づくりのための身体活動基準2013など)。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
12)	健康運動実施上の注意点 【予習】教科書p113～p124、健康運動実施上の安全性と有効性について教科書を読む。(15分) 【復習】(15分)	ペアワーク
13)	運動療法 【予習】教科書p18～p37を読む。運動の効果について生活習慣病予防・改善のための運動の方法について調べておく。(30分) 【復習】(30分)	ペアワーク
14)	競技スポーツと栄養 【予習】教科書p87～p93を読む。競技スポーツの特性と栄養摂取の在り方について、3大栄養素の観点から調べておく。(30分)【復習】(30分)	ペアワーク
15)	まとめ 【予習】教科書およびプリントを読んでおく。これまでの授業で分からなかったことは何か、調べておく。(30分) 【復習】(30分)	
授業外学習		
解剖生理学の内容、生化学、栄養学総論で習った代謝、臨床栄養学で習った病態生理について、復習(予習)して、毎回の授業に臨んでください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「運動生理学」池上晴夫(朝倉書店)		解剖生理学、生化学、栄養学総論、臨床栄養学、病理学

課題に対するフィードバック
授業内容及び授業外で出した課題については翌週に解説する。
備考
私語は慎んでください。また、携帯電話の使用は禁止です。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	生理学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実験	選択	1	2年	後期
担当者名	城野 世津子、石丸 隆行、飯田 亮平	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修	

授業概要

本授業は対面で実施する。

人間の生理機能について、栄養士の知識として必要な事項、栄養士として把握しておくべき測定技法を実験により身につけ、実験結果をまとめ分析する力を養い、栄養士業務に役立てることを目的とする。

到達目標

ナンバリング（M4201ab）

- 1.身体計測の意義、測定方法を理解する
- 2.身体機能の測定方法、その意義について理解する
- 3.官能検査および検定の手法を理解する
- 4.温熱環境の測定方法および指標について理解する

卒業認定・学位授与の方針との関連性

栄養士として必要な「人間の生理機能」に関する基本的な知識及び測定技法を身につけることができる。

成績評価方法

定期試験、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					20
小テスト、授業内レポート	○	○					40
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 感覚温度の測定① 感覚温度、実効輻射温度、不快指数 【予習】関連科目（公衆衛生学）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
2) 感覚温度の測定② 感覚温度、実効輻射温度、不快指数、課題レポート 【予習】関連科目（公衆衛生学）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
3) 身体計測① バイタルサイン：血圧、脈拍、体温 【予習】関連科目テキストを読んでおく（15分） 【復習】配布プリントを読んでおく（15分）		グループワーク
4) 身体計測② 体格の測定：身長、体重、胸囲、腹囲、皮下脂肪厚、体脂肪率 【予習】関連科目テキストを読んでおく（15分） 【復習】配布プリントを読んでおく（15分）		グループワーク
5) 身体計測③ 測定結果の判定・評価 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
6) 嗜好型官能評価① オレンジジュースの嗜好評価 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく（15分） 【復習】配布プリントを読んでおく（15分）		グループワーク
7) 嗜好型官能評価② オレンジジュースの嗜好評価 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
8) 分析型官能評価① 甘味、塩味の味覚識別能力 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく（15分） 【復習】配布プリントを読んでおく（15分）		グループワーク
9) 分析型官能評価② 酸味、苦味の味覚識別能力 【予習】関連科目（食品鑑別論）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
10) 食習慣調査 【予習】実施した食習慣調査結果を確認しておく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
11) 身体機能の測定① 最大酸素摂取量、呼吸機能、握力 【予習】関連科目（運動生理学、応用栄養学）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
12) 身体機能の測定② 最大酸素摂取量、呼吸機能、安静時代謝量 【予習・復習】配布プリントを読んでおく（15分）		グループワーク
13) 身体機能の測定③ 安静時代謝量、データの統計処理 【予習】配布プリントを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
14) 1日のエネルギー消費量・身体活動量① 生活時間調査 【予習】関連科目（運動生理学、応用栄養学）テキストを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
15) 1日のエネルギー消費量・身体活動量② エネルギー消費量測定値の解析 【予習】配布プリントを読んでおく（15分） 【復習】復習小レポートによるまとめ（20分）		グループワーク
授業外学習		
授業内容について関連科目も含めた予習・復習を継続すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
主としてプリント配布によるが、関連科目のテキストも使用		食品鑑別論、運動生理学、公衆衛生学、栄養学

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。内容が不十分な場合は、再提出とします。
備考
【オフィスアワー 未定 】城野 世津子 sirono @ube-c.ac.jp

科目名	生化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	栄養士免許	

授業概要

私たちの体を構成する成分は、分子や電解質でできている。それらは常に変化し、置き換わっている。変化は化学反応によって起こり、化学反応が起こるにはエネルギーが必要である。健康を維持・増進するためには、体の構成成分の材料やエネルギーを栄養素として摂取しなければならない。栄養素も分子や電解質でできている。適切な栄養素の摂取の理論的な根拠を理解するためには、体の構成成分や栄養素を構成する分子や電解質の構造、機能、代謝に関する知識が不可欠である。この授業では、糖質、脂質、たんぱく質の構造と機能、酵素の性質、核酸の構造と機能について、生化学の基礎を学習する。

到達目標

幅広い学びに基づく知識と技能

1. 糖質の構造と機能を説明できる。
2. 脂質の構造と機能を説明できる。
3. タンパク質の構造と機能を説明できる。
4. 酵素の性質を説明できる。
5. 核酸の構造と機能を説明できる。

成績評価方法

毎回の授業で提出する確認問題（50点満点）、3～4回の授業ごとに計5回実施する小テスト（50点満点）、合計100点満点で成績を評価する。

確認問題と小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		50
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 生化学を学ぶための基礎知識 【予習】テキスト3～5ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
2)	2. 糖質の構造と機能（1） 【予習】テキスト6～8ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
3)	3. 糖質の構造と機能（2） 【予習】テキスト8～10ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
4)	4. 糖質の構造と機能（3） 【予習】テキスト10～11ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト①
5)	5. 脂質の構造と機能（1） 【予習】テキスト12～13ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
6)	6. 脂質の構造と機能（2） 【予習】テキスト13～15ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
7)	7. 脂質の構造と機能（3） 【予習】テキスト15～16ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
8)	8. タンパク質の構造と機能（1） 【予習】テキスト17～19ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト②
9)	9. タンパク質の構造と機能（2） 【予習】テキスト19～20ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
10)	10. タンパク質の構造と機能（3） 【予習】テキスト20～23ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
11)	11. 酵素（1） 【予習】テキスト24～25ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト③
12)	12. 酵素（2） 【予習】テキスト26～28ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
13)	13. 核酸とDNAの構造 【予習】テキスト74～75ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト④
14)	14. 遺伝子の複製 【予習】テキスト76～77ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
15)	15. 遺伝子の発現 【予習】テキスト77～79ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト⑤
授業外学習		
予習では、テキストの該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させること。 確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
冊子「栄養士のための生化学テキスト」を配布する。		生化学実験、栄養学総論、臨床栄養学、栄養生化学、運動生理学など

課題に対するフィードバック

確認問題、小テストは、採点して返却し、次回の授業で解答のポイントを解説する。

備考

[illegible]

科目名	栄養生化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	長坂 祐二	関連する資格	栄養士免許	

授業概要

私たちの体を構成する成分は、分子や電解質でできている。それらは常に変化し、置き換わっている。変化は化学反応によって起こり、化学反応が起こるにはエネルギーが必要である。健康を維持・増進するためには、体の構成成分の材料やエネルギーを栄養素として摂取しなければならない。栄養素も分子や電解質でできている。適切な栄養素の摂取の理論的な根拠を理解するためには、体の構成成分や栄養素を構成する分子や電解質の構造、機能、代謝に関する知識が不可欠である。この授業では、生化学の知識を基礎として、糖質、脂質、たんぱく質の代謝、エネルギー代謝、臓器による代謝の分業と調節、主要疾患の病態と食事療法との関連について学習する。

到達目標

幅広い学びに基づく知識と技能

1. 糖質の代謝を説明できる。
2. 脂質の代謝を説明できる。
3. アミノ酸・タンパク質の代謝を説明できる。
4. 代謝を調節する仕組みを説明できる
5. 主要疾患の病態と食事療法との関連について説明できる。

成績評価方法

毎回の授業で提出する確認問題（50点満点）、3～4回の授業ごとに計5回実施する小テスト（50点満点）、合計100点満点で成績を評価する。

確認問題と小テストの提出は、グーグルクラスルームを利用する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○					50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 栄養素の消化と吸収 【予習】テキスト36～39ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
2)	2. 糖質の代謝（1）解糖とクエン酸回路 【予習】テキスト40～43ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
3)	3. 糖質の代謝（2）電子伝達系 【予習】テキスト43～44ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
4)	4. 糖質の代謝（3）その他の糖代謝 【予習】テキスト45～48ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト①
5)	5. 脂質の代謝（1）脂肪酸の合成、 β 酸化、その他 【予習】テキスト49～52ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
6)	6. 脂質の代謝（2）リポタンパク質代謝 【予習】テキスト52～54ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
7)	7. アミノ酸・タンパク質の代謝（1） 【予習】テキスト55～57ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト②
8)	8. アミノ酸・タンパク質の代謝（2） 【予習】テキスト58～62ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
9)	9. エネルギー代謝 【予習】テキスト63～66ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
10)	10. 臓器による分業 【予習】テキスト67～69ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト③
11)	11. 細胞内情報伝達 【予習】テキスト70～73ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
12)	12. 疾患の栄養生化学（1）肥満、メタボリックシンドローム 【予習】テキスト80～81ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
13)	13. 疾患の栄養生化学（2）糖尿病 【予習】テキスト82～85ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト④
14)	14. 疾患の栄養生化学（3）脂質異常症、高血圧、高尿酸血症 【予習】テキスト86～90ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題
15)	15. 疾患の栄養生化学（4）腎疾患、肝疾患 【予習】テキスト90～91ページ読んでくること（30分） 【復習】確認問題の○×の理由について復習すること（30分）	確認問題 小テスト⑤
授業外学習		
予習では、テキストの該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業のポイントを確認問題で定着させること。 確認問題と小テストの問題文の正誤の理由を自分の言葉で説明できるように復習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
生化学の授業で配布した冊子「栄養士のための生化学テキスト」を引き続き使用する。		生化学、生化学実験、栄養学総論、臨床栄養学、運動生理学など

課題に対するフィードバック
確認問題、小テストは、採点して返却し、次回の授業で解答のポイントを解説する。
備考

科目名	生化学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実験	選択	1	2年	前期
担当者名	石丸 隆行、飯田 亮平	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

生化学実験は、専門科目で学習した酵素やタンパク質に関する知識を更に深めることを目標とする。ペプシン、トリプシンなどの消化酵素を中心に、その性質や働きを調べる。また、食品から核酸を抽出する実験や遺伝子組換え実験を通して、DNAや遺伝子についての知識を深めていく。

これまでの授業アンケートで、生化学の専門用語が難しいとの意見が多く寄せられている。用語を覚えるにあたり、すでに講義で聞いた内容について、実際に目で見て実験することがその助けとなるはずである。栄養士実力認定試験の過去問にも取り組む。

到達目標

M3201a

1. 酵素の基本的な性質と働きを理解している。
2. DNAや遺伝子の基本的な性質と働きを理解している。
3. 関連の栄養士実力認定試験問題に解答できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

栄養士として必要な「人体の構造と機能」に関する知識と技能を身につける。

成績評価方法

定期試験、レポート、授業態度・授業参加度で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 実験の説明、pH分析 【予習】1年前期の生活化学で行ったpHのプリントをみしておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
2) パイナップル入りゼラチンゼリーを作ることできるのか？ 【予習】酵素（タンパク質分解酵素）について図書等で調べておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
3) 酵素的褐変 【予習】食品学総論で行った酵素的褐変を復習しておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
4) タンパク質消化酵素の実験／ペプシン、トリプシンによるタンパク質の消化実験 【予習】酵素（タンパク質分解酵素）について図書等で調べておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
5) 糖当て試験 【予習】様々な糖の特性について復習しておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
6) 非酵素的褐変反応（メイラード反応） 【予習】食品学総論で行ったメイラード反応について復習しておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
7) 検量線を使ってタンパク質溶液の濃度を求める。 【予習】検量線とは何か復習しておく(20分) 【復習】ピペットマンの使い方について復習しておく(10分)		フィールドワーク
8) リゾチームの分析／汗、涙に含まれるリゾチーム量を定量する。 【予習】リゾチームに関して調べておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
9) タンパク質を精製してみよう／SDS-PAGEについて学ぶ。 【予習】等電点沈殿、SDS-PAGEについて予習しておく(20分) 【復習】本日の内容の復習(10分)		フィールドワーク
10) タンパク質精製実験のまとめ。 【予習】先週までの実験内容の復習(10分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
11) α -アミラーゼの働きを阻害する。 【予習】アミラーゼ、それを阻害する物質について予習しておく(20分) 【復習】レポート作成(60分)		フィールドワーク
12) 遺伝子組み換え実験 1. 酵母に α -アミラーゼ遺伝子を導入する。 【予習】酵母の遺伝子組み換えについて予習しておく(20分) 【復習】本日の実験内容の復習(10分)		フィールドワーク
13) 遺伝子組み換え実験 2. 遺伝子導入酵母をデンプン培地に移す。 【予習】ヨウ素-でんぷん反応を復習しておく(20分) 【復習】本日の実験内容の復習(10分)		フィールドワーク
14) 遺伝子組み換え実験 3. α -アミラーゼ活性を検出する。／食品から核酸抽出 【予習】先週までの実験内容の復習(10分) 【復習】レポート(60分)		フィールドワーク
15) まとめ 【予習】先週までの実験内容の復習(30分) 【復習】テストに向けてのレポート内容の復習(60分)		
授業外学習		
1. テーマごとに実験レポートを書き、考える能力や文章作成能力を高めることが大事である。 2. すでに学習している内容を視覚的に確認・復習する授業でもあるので、真剣に取り組んで欲しい。特に、講義科目だけでは理解が難しい酵素やタンパク質の構造などについては、栄養士実力認定試験の過去問にも取り組みながら、その知識を深めてもらいたい。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
プリントを配付する。	生化学、栄養生化学、食品学総論、食品学各論、栄養学総論	

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出してもらいます。
備考
遅刻や欠席はしないように！ レポートを一つでも出さないと単位は認められません。 【オフィスアワー】 石丸 隆行

科目名	病理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	横田 忠明、河野 裕夫	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

病理学は病気がどのようなメカニズムで発生し、症状を現し、進展するのかを解明する科学です。健康な生活を送るためには、食物栄養と運動ともに、病気の予防や早期発見・治療は重要です。本講では、食物栄養科学の知見と関連付けながら、病気の知識を習得するための基本を修得します。

到達目標

ナンバリング(M3103a)

1. 病理学的に重要な病変を説明できる。
2. 重要な疾患の病理と病態生理を説明できる。

成績評価方法

受講態度、期末試験、小テストによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		50
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 総論 病理学の領域、細胞・組織とその障害、再生と修復 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
2) 循環障害 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
3) 炎症、免疫とアレルギー 1 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
4) 免疫とアレルギー 2 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
5) 感染症 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
6) 代謝異常 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
7) 腫瘍 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
8) 老化と老年病、各論 循環器系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
9) 各論、呼吸器系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
10) 各論 消化器系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
11) 各論 内分泌系、腎・尿路系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
12) 各論 生殖器・乳腺 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
13) 各論 造血器系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
14) 各論 脳・神経系 【予習】テキストを読んでおく(45分) 【復習】配布資料とポイントを読み、確認問題を解く(45分)		小テスト
15) 感覚器系と病理学総まとめ(テスト対策) 【予習】テキストを読んでおく。今までの配布資料を確認する(45分) 【復習】配布資料とポイント・確認問題を復習する(45分)		小テスト
授業外学習		
授業計画に沿って、講義資料を配布します。 講義時間内に小テストがあります。講義資料、参考書を復習して下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「カラーで学べる病理学」第5版 編集 渡辺照男（ヌーベルヒロカワ）、講義資料		解剖生理学、生化学、公衆衛生学、食品衛生学

課題に対するフィードバック
授業内容及び授業外で出した課題については翌週にコメントします。 疑問があればその都度質問して下さい。
備考
プロジェクターを使ってテキストに添って講義を進めます。小テストにより、出席の確認を行います。 授業進度により、一部授業内容が変更することがあります。

科目名	食品学総論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	石丸 隆行	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修	

授業概要

食品に含まれる5大栄養素、色・味・匂いの嗜好に関与する成分、生体調節に関与する成分や有毒成分の化学及びその成分の調理・加工・貯蔵中における品質の変化を学ぶ。

到達目標

M1102ab

食品成分の化学構造特性と嗜好性、食品機能性、加工特性との関係に関する知識を習得し、安心・安全で工夫した献立、調理ができるための知識が身につくようになる

卒業認定・学位授与の方針との関連性

食品に関する基本的な知識及び食品の機能性に関する知識を身につけることができる。

成績評価方法

中間テスト、期末定期試験、小テスト、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	食品の機能と食品学の概要、ヒトと食、食と健康、私たちを取りまく食環境 【予習】教科書p1～p10を読んでくる(10分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
2)	成分表の見方、水分の化学 【予習】教科書p10～p25を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
3)	食品中のタンパク質の化学、小テスト① 【予習】教科書p25～p42を読んでくる、1.2回目までのプリントの復習(30分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	小テスト
4)	食品中の脂質の化学 【予習】教科書p43～p53を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
5)	食品中の脂質の化学：油脂の特性と油脂の酸化、炭水化物 小テスト② 【予習】教科書p53～p65を読んでくる、3.4回目までの復習(30分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	小テスト
6)	食品中の糖質の化学：多糖類の構造と食品物性 【予習】教科書p65～p72を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
7)	中間テスト① 【予習】1回目～3回目までの内容を復習しておくこと(60分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	中間テスト
8)	食品中のビタミンの化学：ビタミンの分類と特徴、小テスト③ 【予習】教科書p73～p84を読んでくる、5.6回目までの復習(30分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	小テスト
9)	食品中のミネラルの化学 【予習】教科書p85～p92を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
10)	食品中の色素、香気・匂い 【予習】教科書p92～p102、p109-p114を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
11)	食品中の呈味成分、物性 【予習】教科書p102～p109、p129-p135、p143を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
12)	中間テスト② 【予習】4回目～6回目までの内容を復習しておくこと(60分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	中間テスト
13)	食品中の物性②、非酵素的褐変 【予習】教科書p136～p143、p115-p119を読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	
14)	酵素的褐変、酵素 小テスト④ 【予習】教科書p120～p127を読んでくる、8.9回目までの復習(30分) 【復習】授業プリントを復習しておく(10分)	小テスト
15)	まとめ 【予習】今までの授業プリントを復習しておく(30分) 【復習】まとめプリントをすべて埋めておく(30分)	
授業外学習		
単元ごとに講義内容の小テストがあります。授業プリント、教科書を復習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「食べ物と健康 食品学総論」谷口亜樹子編著（光生館）		栄養学、生化学、食品学各論、食品学実験、生化学実験

課題に対するフィードバック
小テストについては解説をしながら自己採点を行います。その後、回収し、翌週返却します。
備考
【オフィスアワー】授業の前後で対応します

科目名		食品学各論						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期			
講義	選択	2		1年	後期			
担当者名	石丸 隆行			関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修			
授業概要 各個別食品の成分や特性を習得し、食品成分の化学的・酵素的変化を理解することを目的とする。また、食品材料とそれらの加工・保存の意義と権利について学ぶ。 授業は基本対面ですが、一部遠隔で行うことがあります。								
到達目標 M2103abc 動物性食品、植物性食品の栄養成分や特性・機能を理解し、素材の特性を活かした健全で豊かな献立が提供できる知識を習得する。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 食品に関する基本的な知識及び食品の機能性に関する知識を身につけることができる。				成績評価方法 中間テスト、期末定期試験、小テスト、課題の提出				
評価項目		評価基準						
		知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)		○	○	○				50
小テスト、授業内レポート		○	○					30
宿題、授業外レポート								
授業態度・授業参加度				○		○		20
プレゼンテーション								
グループワーク								
演習								
実習								

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 植物性食品：こめ、麦類、その他の穀類 【予習】教科書p7-p17まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
2) 植物性食品：いも類、豆類 【予習】教科書p20-p33まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
3) 植物性食品：種子類、野菜類 小テスト① 【予習】教科書p33-p48まで読んでくる。1.2回目講義の復習(30分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		小テスト
4) 植物性食品：果実類、キノコ類 【予習】教科書p48-p65まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
5) 植物性食品：藻類 動物性食品：食肉類 小テスト② 【予習】教科書p65-p77まで読んでくる。3.4回目講義の復習(30分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		小テスト
6) 動物性食品：食肉類、牛乳 【予習】教科書p77-p95まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
7) 中間テスト① 【予習】植物性食品の復習(60分) 【復習】中間テストの復習(10分)		中間試験
8) 動物性食品：卵、魚介類 【予習】教科書p95-p110まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
9) 動物性食品：魚介類、油脂 小テスト③ 【予習】教科書p111-p123まで読んでくる。5.6回目講義の復習(30分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		小テスト
10) 油脂、調味料、香辛料 【予習】教科書p123-p138まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		オンライン
11) 中間テスト② 【予習】動物性食品の復習(60分) 【復習】中間テストの復習(10分)		中間テスト
12) 嗜好飲料、調理加工品、微生物利用食品 【予習】教科書p138-p155まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
13) 食品の加工 小テスト④ 【予習】教科書p157-p173まで読んでくる。6.8.9回目講義の復習(30分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		小テスト
14) 食品の器具と包装、規格、アレルギー、遺伝子組み換え食品 【予習】教科書p174-p181まで読んでくる(20分) 【復習】授業プリントを復習する(10分)		
15) まとめ 【予習】今までの講義の復習(30分) 【復習】授業プリントを復習する(30分)		
授業外学習		
中間テストを2回するので、しっかり勉強しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「食べ物と健康 食品学各論・食品加工学」谷口亜樹子編著（光生館）		食品学総論、食品鑑別論、食品加工学、調理学

課題に対するフィードバック
小テストについては全員提出後、点数をつけて返却します。
備考
【オフィスアワー】授業の前後で対応します

科目名	食品学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実験	選択	1	1年	後期
担当者名	石丸 隆行、飯田 亮平	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト 必修	

授業概要

食品成分表に記載されている栄養成分の分析方法を学ぶことを目的とする。一貫して指定した食品の栄養成分の分析を行い、最終的にエネルギー値の算出まで行うことによって食品成分表に記載されている値への理解を深める。

到達目標

M2201ab

- 「五訂増補日本食品標準成分表」に記載されている食品成分の分析方法を理解する。
- 基本的な化学分析の技術を習得する。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

栄養士として必要な「食品と衛生」に関する基本的な知識及び食品に関する実験技術を身につけることができる

成績評価方法

毎回のレポート、定期試験、授業への積極性、課題の提出

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					20
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	実験についての諸注意、レポートの書き方、水分の分析①恒量 【予習】教科書60p～62pを読み、原理を理解しておく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
2)	水分の分析②恒量、サンプル採取 【予習】教科書60p～62p、プリントを読んでおく（10分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
3)	水分の分析③水分量を求める。ジュースのクエン酸濃度、糖度測定 【予習】教科書60p～62p、プリントを読んでおく（20分） 【復習】レポート作成（60分）	
4)	脂質の分析① 脂質の定量ビンの恒量 【予習】教科書67p～69pを読み原理を理解しておく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
5)	脂質の分析②定量ビンの恒量、ソックスレー抽出器への装着 【予習】教科書67p～69p、プリントを読んでおく（10分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
6)	脂質の分析③脂肪量を求める。味噌汁、醤油の食塩の分析 【予習】教科書67p～69p、プリントを読んでおく（20分） 【復習】レポート作成（60分）	
7)	たんぱく質の分析①試料調整、ケルダール分解 【予習】教科書62p～67pを読み原理を理解しておく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
8)	たんぱく質の分析②試料分解液の希釈、水蒸気蒸留 【予習】教科書62p～67p、プリントを読んでおく（10分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
9)	たんぱく質の分析③水蒸気蒸留、タンパク質量を求める。 【予習】教科書62p～67p、プリントを読んでおく（20分） 【復習】レポート作成（60分）	
10)	灰分の分析① るつぼの恒量、試料の採取、炭化 【予習】教科書75p～78pを読み原理を理解しておく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
11)	灰分の分析②恒量を求め、灰分の量、エネルギー値を求める。 【予習】教科書75p～78p、プリントを読んでおく（20分） 【復習】レポート作成（60分）	
12)	無機質の特性 酸性食品、アルカリ性食品 【予習】渡したプリント、食品学総論の教科書を読んでおく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
13)	脂質の特徴 ヨウ素価、ケン化価 【予習】渡したプリント、食品学総論の教科書を読んでおく（20分） 【復習】今日行った実験内容を復習しておく（10分）	
14)	脂質の特性 酸化、過酸化物質 【予習】渡したプリント、食品学総論の教科書を読んでおく（20分） 【復習】レポート作成（60分）	
15)	まとめ 【予習】今までの実験レポートを復習しておく（20分） 【復習】本日行った計算を確実にできるようにしておく（40分）	
授業外学習		
1つの分析が終わった翌週にレポートを提出すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
大鶴 勝 編 『食品学実験』（朝倉書店） 『五訂増補日本食品標準成分表』		食品学総論 食品学各論 調理学 給食管理学

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出してもらいます。
備考
欠席の多い者、レポートを1通でも提出していないものは不可とするので注意すること。 【オフィスアワー】 石丸 隆行

科目名	食品衛生学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	石丸 隆行	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修	

授業概要

微生物は発酵食品作りには必須であるが、扱い方を間違えてしまうと食中毒を引き起すなど、人に対し牙をむくこととなる。食中毒等をふせぐため、「食品衛生学」では、微生物以外にも、ウイルスや寄生虫などによる汚染や食品添加物など、飲食を介して体内に取り込む可能性のある危険因子について学び、食品の安全性の確保のための手段を習得することを目的とする。また、「食品衛生学」は、微生物学や化学などの自然科学とともに、行政や法律など社会科学分野とも深く関わっているため、食品衛生行政や食品衛生法などについても簡単に説明する。

到達目標

M3104abc

- 食品衛生行政や食品衛生法などの基礎的な知識が身についている。
- 微生物や食品添加物など飲食に起因する健康上の危険因子について知り、食の安全性について考えることができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

食品の機能性や安全性など食品に関する幅広い知識を身につける。

成績評価方法

授業態度、小テスト、定期試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					70
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 食品衛生の概念と食品衛生行政 【予習】教科書p3～p27を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
2) 食品中の微生物、食品の変質と防止 【予習】教科書p29～p45を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
3) 食中毒 細菌性食中毒① 【予習】教科書p47～p65を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
4) 食中毒 細菌性食中毒② 小テスト① 【予習】教科書p66～p76を読んでくること。1.2.3回目の講義の復習(30分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		小テスト
5) 食中毒 ウイルス性食中毒、自然毒食中毒 【予習】教科書p76～p94を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
6) 食中毒 化学性中毒、経口感染症 小テスト② 【予習】教科書p94～p107を読んでくること。4.5回目の講義の復習(30分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		小テスト
7) 食中毒 寄生虫 【予習】教科書p108～p120を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
8) 有害物質による食品汚染 小テスト③ 【予習】教科書p121～p138を読んでくること。5.6.7回目の講義の復習(30分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		小テスト
9) 食品添加物 【予習】教科書p139～p157を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
10) 食品の器具・包装、食品衛生対策 【予習】教科書p159～p172を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
11) 食品関係の施設・設備の衛生、洗剤 小テスト④ 【予習】教科書p172～p183を読んでくること。8.9.10回目の講義の復習(30分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		小テスト
12) 家庭における衛生管理、遺伝子組換え食品 【予習】教科書p183～p189を読んでくること(20分) 【復習】授業プリントの復習(10分)		
13) アレルギー、食品の表示、まとめ① 【予習】アレルギー、トクホについて調べてくること(20分) 【復習】授業まとめプリントの復習(10分)		
14) まとめ② 【予習】経口感染症-化学性食中毒まで復習してくる(20分) 【復習】授業まとめプリントの復習(10分)		
15) まとめ③ 【予習】寄生虫-アレルギーまでの復習(20分) 【復習】授業まとめプリントの復習(10分)		
授業外学習		
小テストを行うので、復習をしっかりとってくること。 教科書に載っていない遺伝子組換え食品、アレルギー、トクホに関して自分で調べてくること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「食べ物と健康・食品と衛生 新食品衛生学要説2021年版」細貝祐太郎、松本昌雄、廣末トシ子 編（医歯薬出版）		食品学総論、食品衛生学実験

課題に対するフィードバック

各単元ごとに小テストを行う。小テストは講義内に回答を行い、翌週の講義時に返却する。

備考

1. 授業開始時に、課題の答え合わせをするので、遅刻・欠席をしないようにする。
2. 課題プリントなどの配付物をなくさないようにする。
【オフィスアワー】授業の前後で対応します

科目名	食品衛生学実験			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実験	選択	1	2年	後期
担当者名	石丸 隆行、飯田 亮平	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト 必修	

授業概要

微生物は発酵食品作りには必須であるが、扱い方を間違えてしまうと食中毒や病気を引き起すなど、人に対し牙をむくこととなる。「食品衛生学実験」では、どうすれば微生物を増やさずに食中毒を防ぐことができるかについて実験を通して学んでいく。すなわち、微生物の検出・殺菌方法についての基本操作を学んでいく。さらに、普段何気なく使用している水も食品において大切であり、石丸隆行は水質検査の実務経験をもとに、水道水の分析についての実験も行う。

また、レポート課題で、「食品衛生学」の栄養士実力認定試験の過去問にも取り組む。

到達目標

M4202ab

1. 微生物が調理現場などにも存在していることを認識している。
2. 微生物の基本的な検出・殺菌方法を理解している。
3. 関連の栄養士実力認定試験問題に解答できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

栄養士として必要な「食品と衛生」に関する基本的な知識及び食品に関する実験技術を身につけることができる。

成績評価方法

中間試験、定期試験、レポート、授業態度・授業参加度、課題の提出で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					10・10
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 空気中の微生物観察1 【予習】空気中の微生物の基準などを調べておく。（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
2) 空気中の微生物観察2 レポート作成 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク
3) 水道水中の細菌検出1 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
4) 水道水中の細菌検出2 レポート作成 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク
5) 手指や調理器具に付着している微生物の検出1 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
6) 手指や調理器具に付着している微生物の検出2 レポート作成 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク
7) 微生物の拭き取り検査1 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
8) 微生物の拭き取り検査2 レポート作成 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク
9) ミネラルウォーター中の微生物検出1 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週の中間テスト勉強及び実験内容を復習しておく（90分）		フィールドワーク
10) ミネラルウォーター中の微生物検出2レポート作成／中間試験 【予習】中間テスト勉強及び課題を調べておく（60分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク／中間試験
11) 身の回りの細菌検査1 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
12) 細菌検査のまとめ、グラム染色、顕微鏡観察 レポート作成 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】レポート内容をしっかり覚える（10分）		フィールドワーク
13) 水の分析1、pH、色度、濁度 【予習】来週の実験操作を把握しておく（10分） 【復習】翌週レポートが書けるよう実験内容を復習しておく（20分）		フィールドワーク
14) 水の分析2、硬度の分析、まとめ 【予習】課題等を調べておく（30分） 【復習】今までの実験内容を復習しておく（30分）		フィールドワーク
15) まとめ 【予習】今までの実験内容を復習しておく（30分） 【復習】今までの実験内容を復習しておく（30分）		オンライン
授業外学習		
1. 課題の内容を図書等で調べてくること。 2. 配ったプリントで分からない語句等があれば食品衛生学の教科書等で調べてくる。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
プリントを配付する	食品衛生学、公衆衛生学、食品学実験	

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点があれば修正し、再提出する。
備考
遅刻や欠席はしないように！ レポートを一つでも出さないと単位は認められません。 【オフィスアワー】 石丸 隆行

科目名	栄養学総論						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
講義	必修	2		1年	前期		
担当者名	城野 世津子		関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修			
授業概要							
本授業は対面で実施する。 食物として摂取する栄養素（炭水化物、脂質、たんぱく質、ビタミン、無機質）の種類や機能、消化・吸収とそれら栄養素の体内動態等、栄養学の基礎知識を習得する。生きていくための栄養とその役割について、ヒトのからだ全体を通して理解する。							
到達目標				成績評価方法			
ナンバリング（M1103abcg） 1. 栄養素の種類とその機能、体内での代謝について理解する。 2. 生命維持のために必要なエネルギー、栄養素の役割をヒトの体を通して理解する。				定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価			
卒業認定・学位授与の方針との関連性 食物として摂取した栄養素の消化吸收、生命維持のために必要なエネルギー、栄養素の役割に関する基礎知識を身につけることができる。							
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 栄養の概念 栄養素とその機能、栄養と健康・疾患 【予習】テキストp14～25を読んでおく(10分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
2) 消化と吸収① 消化、吸収の仕組み 【予習】テキストp39～56を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（栄養素）
3) 消化と吸収② 糖質、脂質、たんぱく質の消化と吸収 【予習】テキストp56～66を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
4) 糖質の栄養① 糖質の機能、食物繊維 【予習】テキストp68～74を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（消化吸収）
5) 糖質の栄養② 体内代謝 【予習】テキストp74～84を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
6) 脂質の栄養① 脂質の機能 【予習】テキストp87～94を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（糖質）
7) 脂質の栄養② 体内代謝 【予習】テキストp94～102を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
8) たんぱく質の栄養① たんぱく質の機能、栄養価 【予習】テキストp105～111を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（脂質）
9) たんぱく質の栄養② たんぱく質・アミノ酸の代謝 【予習】テキストp111～121を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
10) ビタミンの栄養① ビタミンの構造と機能 【予習】テキストp123～132を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（たんぱく質）
11) ビタミンの栄養② ビタミンの栄養学的機能 【予習】テキストp132～138を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
12) 無機質の栄養① 無機質の構造と機能 【予習】テキストp140～144を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（ビタミン）
13) 無機質の栄養② 無機質の栄養学的機能 【予習】テキストp144～150を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		
14) 水・電解質の代謝、エネルギー代謝 【予習】テキストp152～163を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(30分)		小テスト（ミネラル）
15) 5大栄養素 まとめ 【予習・復習】小テスト及び復習小レポートを確認しておく(30分)		小テスト
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してくる。 講義内容に関する復習小レポート課題をまとめること。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「基礎栄養学 第4版」田地陽一編（羊土社）	生化学、食品学、解剖生理学、栄養学各論	

課題に対するフィードバック
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。
備考
【オフィスアワー 未定 】城野 世津子 sirono @ube-c.ac.jp

科目名	栄養学各論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	城野 世津子	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 選択 フードコーディネーター資格 必修	

授業概要

本授業は対面（一部遠隔）で実施する。

ヒトが生まれてから成長し、成人となり老年にいたる各ライフステージにおける栄養と生理的变化に関する知識を習得する。人間の一生の各段階、妊娠・授乳期、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期における栄養特性について学ぶ。

到達目標

ナンバリング（M2104abc）

- 1.日本人の食事摂取基準を理解する
- 2.各ライフステージにおける栄養特性と生理学的特性を理解する

卒業認定・学位授与の方針との関連性

ヒトの各ライフステージにおける栄養と生理的变化に関する知識を身につけることができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	日本人の食事摂取基準2020（ライフステージ別） 【予習】テキストp23～37を読んでおく（15分）、p1～14を読んでおく（20分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
2)	栄養ケアマネジメント 【予習】テキストp1～14を読んでおく（20分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（食事摂取基準）
3)	乳児期の栄養 ①乳児期の特性、乳児期の栄養と代謝 【予習】テキストp79～87を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
4)	乳児期の栄養 ②乳児期の栄養に関わる疾病 【予習】テキストp88～99を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（乳児期）
5)	成長期栄養（幼児期・学童期・思春期）①幼児期にみられる栄養上の問題点 【予習】テキストp101～110を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
6)	成長期栄養（幼児期・学童期・思春期）②学童期・思春期の特性、栄養上の特徴【予習】テキストp112～122を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（幼児期）
7)	成長期栄養（幼児期・学童期・思春期）③学校給食、学童期・思春期にみられる栄養障害【予習】テキストp112～122を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
8)	成人期の栄養 ①成人期の特性、成人期の栄養上の特徴 【予習】テキストp125～130を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（学童期・思春期）
9)	成人期の栄養 ②生活習慣病 【予習】テキストp130～136を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
10)	高齢期の栄養 ①高齢期の特性、高齢期の栄養上の特徴 【予習】テキストp139～144を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（成人期）
11)	高齢期の栄養 ②高齢期の栄養上の問題点 【予習】テキストp145～153を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
12)	妊娠期・授乳期の栄養 ①母性の特性、妊娠期・授乳期の栄養上の特徴 【予習】テキストp53～63を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（高齢期）
13)	妊娠期・授乳期の栄養 ②妊娠期の疾病と栄養管理 【予習】テキストp64～77を読んでおく（15分） 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	
14)	成長・発達・加齢と栄養 【予習】テキストp39～51 【復習】課題レポートによるまとめ（20分）	小テスト（妊娠期・授乳期）
15)	各ライフステージの栄養 まとめ 【予習・復習】小テスト及び課題レポートを確認しておく（30分）	
授業外学習		
毎回の講義範囲及び次回講義内容について予習・復習を継続すること。 講義内容に関する予習課題レポート、復習課題レポートを提出すること。 レポート提出はGoogleクラスルームを利用する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「サクセス管理栄養士講座 応用栄養学－ライフステージ別－」 多賀昌樹、他著（第一出版）		栄養学総論、解剖生理学、臨床栄養学

課題に対するフィードバック
小テスト実施後、翌週以降に出題内容について解説を行います。 レポート提出後、コメントをつけ返却します。
備考
【オフィスアワー 未定 】城野 世津子 sirono @ube-c.ac.jp

科目名	栄養学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	後期
担当者名	城野 世津子、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は対面（一部遠隔）で実施する。

ヒトの一生における各ライフステージに適合した栄養について理解し、健康の保持・増進と疾病予防のための食生活のあり方を食事として具現していく方法について学習する。

栄養学総論・各論の教科で学んだ知識を基本に、乳児期、幼児期、学童期、思春期、成人期、高齢期のそれぞれの対象にふさわしい食事・栄養のあり方を実習・演習を通して学ぶ。

この授業は対面授業により行う。

到達目標

ナンバリング（M2202a）

- ・日本人の食事摂取基準を理解し、活用ができる
- ・各ライフステージに適合した栄養について理解する
- ・対象者に応じた食事の提供ができる

卒業認定・学位授与の方針との関連性

各ライフステージ対象者の健康の保持・増進と疾病予防を目的とした食事提供のために必要とされる知識・技術を身につけることができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業内レポート、授業への意欲・態度による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション		○	○	○			5
グループワーク		○	○		○		5
演習							
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) 日本人の食事摂取基準2020 【予習】栄養学各論テキストp23～37を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 2) 食習慣調査（BDHQ）の実施：パソコン入力、BDHQ前期結果返却・解説 各ライフステージの栄養についての概要【予習】p1～9を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 3) 乳児期の栄養① 乳汁栄養、人工栄養法について（調整粉乳の成分比較） 【予習】テキストp50～60を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 4) 乳児期の栄養② 調乳（実習） 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】レポートによるまとめ(60分) 5) 成人期（青年期）の栄養① BDHQの結果分析、栄養ケアプログラムの理解 【予習】テキストp2～11、p135～150を読んでおく(20分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(15分) 6) 成人期（青年期）の栄養② 栄養アセスメント、栄養ケアプログラム作成 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】小レポートによるまとめ(20分) 7) 離乳期の栄養① 乳児の摂食機能について 【予習】テキストp61～71を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 8) 離乳期の栄養② 離乳食（実習）、ベビーフード 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】レポートによるまとめ(60分) 9) 幼児期の栄養① 幼児食、保育所給食について 【予習】テキストp76～94を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 10) 幼児期の栄養② 実習 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】レポートによるまとめ(60分) 11) 高齢期の栄養① 高齢期の特性、老化による機能低下と食事 【予習】テキストp168～186を読んでおく(15分) 【復習】復習小レポートによるまとめ(20分) 12) 高齢期の栄養② 軟菜食（実習） 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】プレゼンテーションの準備(30分) 13) 高齢期の栄養③ 実習まとめ、プレゼンテーション 【予習】配布プリントを読んでおく(15分) 【復習】レポートによるまとめ(60分) 14) 成人期（青年期）の栄養③ 課題発表 【予習】プレゼンテーションの準備(30分) 【復習】レポートによるまとめ(60分) 15) ライフステージ別栄養管理まとめ、小テスト 【予習・復習】レポートを確認しておく(30分)		グループワーク（実習）実施： 第4回、第8回、第10回、第12回、第14回
授業外学習		
授業内容について関連科目も含めた予習・復習を継続すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「新編応用栄養学実習」宮澤節子、他編集（学建書院）		栄養学各論、栄養学総論、調理学実習

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。内容が不十分な場合は再提出とします。
備考
【オフィスアワー 未定 】城野 世津子 sirono @ube-c.ac.jp

科目名	臨床栄養学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	綿田 敏孝	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

栄養士が患者の栄養指導を行うときに最低限必要な医学知識について、食事療法が重要となる代表的な疾患を中心に、その概念、病態生理、検査・診断法および治療法の概略を講義する。

到達目標

ナンバリング (M2105a)

1. 主な病気について病態生理・診断方法・治療法の概略を理解する。
2. 食事療法を行なう意義、病態を改善するメカニズムを理解する。

成績評価方法

受講態度、授業中に行う小テストおよび定期試験の成績により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験 (中間・期末)	○	○	○		○		50
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 概論～イントロダクション～総論 【予習】必要なし 【復習】講義H O 再読 （15分）		
2) 総論 【予習】必要なし 【復習】講義H O 再読 （15分）		
3) 消化器疾患（1） 【予習】解剖生理学の消化器疾患(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
4) 消化器疾患（2） 【予習】解剖生理学の消化器疾患(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
5) 代謝性疾患（1）メタボリック・シンドローム 【予習】解剖生理学のメタボリックシンドローム(15分) 【復習】講義H O再読 （15分）		
6) 代謝性疾患（2）糖尿病1 【予習】解剖生理学の膵臓(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
7) 代謝性疾患（2）糖尿病2 【予習】解剖生理学の膵臓(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
8) 代謝性疾患（3）脂質異常症と動脈硬化症（4）痛風（5）低栄養 【予習】生化学の脂質・蛋白(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
9) 代謝性疾患（6）先天性代謝障害（7）骨疾患 【予習】生化学Ca代謝(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
10) 代謝性疾患（8）内分泌疾患 【予習】解剖生理内分泌(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
11) 循環器疾患 【予習】解剖生理循環器(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
12) 腎臓疾患 【予習】解剖生理腎臓(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
13) 血液疾患、感染免疫アレルギー 【予習】解剖生理血液(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
14) 感染免疫アレルギー、脳神経障害 【予習】解剖生理中枢神経(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
15) 外科栄養法、がん、呼吸器疾患 【予習】解剖生理呼吸器(15分)【復習】講義H O再読 （15分）		
授業外学習		
各講義時間内で、各種映像資料を呈示している。最終考査までに各自何らかの映像資料を元に、その感想・レポートを記入してもらう。講義終了後課題を提示する、その提出をもって、出席とみなす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『臨床栄養学 第2版：栄養科学シリーズNEXT』武田・中坊・竹谷編集（講談社サイエンティフィック）		解剖生理学、実践臨床栄養学、臨床栄養学実習

課題に対するフィードバック
適宜、講義内にて解説
備考
原則オンデマンドによる講義を進める。疑問があればメールで。 【オフィスワーク】綿田敏孝 fwbc1318@nifty.com

科目名	実践臨床栄養学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	有富 早苗	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

病院での管理栄養士・栄養士の活動を学び、栄養アセスメントや、それぞれの疾病に合わせた栄養療法・食事療法の基本的な考え方や、様々な疾患に合わせた食事療法をどう調理に活かすかを学び、管理栄養士・栄養士が関わっているチーム医療活動を知り知識を生かす方法、更に災害時の対応と普段からの対策方法と災害時の栄養管理を学び、病院や福祉施設での臨床栄養管理ができることを目的とする。

到達目標

ナンバリング(M3202a)
 栄養士として患者の栄養管理を実施する上で、栄養評価法を身につけ、それぞれの疾病の栄養療法を身につけることを目標とする。

成績評価方法

授業態度・確認テスト・定期試験による評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート			○				5
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 臨床栄養の概念・病院の栄養部門について 【復習】小レポート作成（60分）		レポート提出
2) 栄養・食事療法（病院食の種類）と約束食事基準 【復習】授業で行った内容（30分）		レポート提出
3) 経腸栄養療法と静脈栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト・グループワーク
4) 栄養アセスメントと栄養診断 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト・グループワーク
5) 栄養、代謝、内分泌系疾患の栄養療法① 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
6) 栄養、代謝、内分泌系疾患の栄養療法② 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
7) 消化器系疾患の栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
8) 循環器系疾患の栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
9) 腎疾患の栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
10) 血液疾患・呼吸器疾患の栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
11) がん患者の栄養療法、食物アレルギー 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト・グループワーク
12) 高齢者の栄養療法（サルコペニア・褥瘡・摂食嚥下障害） 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト・グループワーク
13) 妊娠から授乳期における栄養療法・思春期の栄養療法 【復習】授業で行った内容（30分）		小テスト
14) 病院食（栄養部門）の災害対策 【復習】小レポート作成（60分）		レポート提出・グループワーク
15) チーム医療での管理栄養士・栄養士の役割 【復習】全体の振り返り（90分）		小テスト・グループワーク
授業外学習		
授業開始時に毎回前回の講義内容の確認テストを行いますので、復習しておいてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「栄養科学シリーズNEXT・臨床栄養学概論」友竹浩之・塚原丘美／編（講談社）		臨床栄養学、臨床栄養学実習

課題に対するフィードバック
翌週にグループ討議と発表
備考
・ 授業を行った翌週に確認テストを行いますので教科書・前回配布した資料は忘れない様に。 ・ 授業中に携帯電話の操作は禁止します。 【オフィスアワー】 授業の前後で対応します

科目名	臨床栄養学実習						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	選択	1		2年	前期		
担当者名	幸 恵里、大久保 祐花		関連する資格		栄養士免許 必修		
授業概要							
臨床栄養学に基づき、実践臨床栄養学との連携の中で、傷病者の病態や栄養状態の特徴を把握し、疾患・病態別の食事療法の基本方針と栄養管理の知識と技能を修得する。 幸恵里は、栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、臨床栄養学実習について授業を行う。 大久保祐花は、管理栄養士の実務経験をもとに、臨床栄養学実習について授業を行う。							
到達目標				成績評価方法			
1.対象者に適正な食事療法が理解できる。 2.軟菜食の特徴を理解し、献立を作成できる。 3.糖尿病の食事療法を理解し、食品交換表を用いて献立を作成できる。 4.その他治療食の食事療法を理解し、献立を作成できる。				レポート（60％）、期末テスト（30％）、授業態度（10％）			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○				30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度	○		○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1. 臨床栄養学実習の基礎：エネルギー補給法、栄養計画、食事計画（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 2. 一般治療食：流動食、濃厚流動食、軟食（分粥）（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 3. 一般治療食：軟食（分粥）調理実習（幸、大久保） 【予習】配布資料を読む（20分）【復習】レポートを作成する（60分） 4. 特別治療食：高血圧食（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 5. 特別治療食：高血圧食の調理実習（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 6. 特別治療食：エネルギーコントロール食（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 7. 特別治療食：糖尿病食事療法のための食品交換表の使い方（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 8. 特別治療食：糖尿病食の調理実習（幸、大久保） 【予習】配布資料を読む（20分）【復習】レポートを作成する（60分） 9. 特別治療食：たんぱく質コントロール食（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 10. 特別治療食：腎臓病食の調理実習（幸、大久保） 【予習】配布資料を読む（20分）【復習】レポートを作成する（60分） 11. 特別治療食：脂質コントロール食（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 12. 特別治療食：脂質コントロール食の調理実習（幸、大久保） 【予習】配布資料を読む（20分）【復習】レポートを作成する（60分） 13. 特別治療食：摂食・嚥下障害（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分） 14. 特別治療食：摂食・嚥下障害の実習（幸、大久保） 【予習】配布資料を読む（20分）【復習】レポートを作成する（60分） 15. 一般治療食・特別治療食まとめ（幸、大久保） 【予習】教科書を読む（20分）【復習】配布資料を読む（20分）		2.4.6.7.9.11.13：個人ワーク 3.5.8.10.12.14：グループワーク
授業外学習		
献立作成および実習レポートの作成		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「臨床栄養学実習書 第12版」玉川和子、口羽章子、木戸詔子 編著（医歯薬出版） 「糖尿病治療のための食品交換表 第7版」日本糖尿病学会編 著（文光堂）		臨床栄養学 実践臨床栄養学

課題に対するフィードバック
備考

科目名	栄養指導論Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許 必修 フードスペシャリスト資格 選択	

授業概要

本授業は原則遠隔で実施する。
人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識等について学ぶ。栄養士の役割や仕事について知る。健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。栄養指導に必要な知識を身につける。
栄養指導の実務経験をもとに、法令、基礎知識、諸施策について授業を行う。

到達目標

M1104ab

1. 栄養士の役割や仕事が理解できる。
2. 健康的な食生活について、理解し実践できる。
3. 栄養指導に関する基礎知識が理解できる。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○		○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 栄養士の役割・仕事について 課題：1週間の食事記録 【予習】栄養士の仕事について調べる（30分） 【復習】ノート整理（30分）		レポート
2) 栄養指導の歴史1 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
3) 栄養指導の歴史2 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
4) 栄養指導に関連するおもな法令1 栄養士法 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
5) 栄養指導に関連するおもな法令2 健康増進法 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
6) 栄養指導に関連するおもな法令3 食育基本法 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
7) 栄養指導に関連するおもな法令4 その他 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
8) 栄養指導に必要な基礎知識1 マネジメントサイクル 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
9) 栄養指導に必要な基礎知識2 栄養調査 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
10) 栄養指導に必要な基礎知識3 評価 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
11) 栄養指導に必要な基礎知識4 指導方法 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
12) 栄養指導に必要な基礎知識5 教材 媒体 コミュニケーション技術 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
13) 栄養指導関連の諸施策1 食事摂取基準 食生活指針 食事バランスガイド 【予習】テキストを読む（30分）【復習】ノート整理（30分）		
14) 栄養指導関連の諸施策2 日本食品標準成分表 食育推進計画 栄養教諭 食料需給 【予習】テキストを読む（30分）【復習】ノート整理（30分）		
15) 栄養指導関連の諸施策3 健康日本2 1 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）		
授業外学習		
自分や自分の身近な人々について主観的栄養アセスメントを行う。 地域での栄養教育を意識する。 テレビ、新聞等の健康・栄養情報の紹介について観察する。 テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト「栄養士・管理栄養士のための栄養指導論」（学建書院） その他必要に応じて資料を配布する	栄養指導実習 公衆栄養学	

課題に対するフィードバック
提出課題等については、個別に補足する。
備考
課題は期限までに提出してください。 分からないことがあれば質問してください。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】 決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	栄養指導論Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は原則遠隔で実施する。
 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識、技術を学ぶ。栄養士免許をもつ意義を知る。健康的な食生活のあり方と実践方法を学ぶ。栄養指導に必要な知識や技術を学ぶ。
 栄養指導の実務経験をもとに、演習等を実施するとともに、技術と方法、栄養調査等について授業を行う。

到達目標

- M2106a
 1. 栄養士免許をもつ意義が理解できる
 2. 健康的な食生活について理解し実践できる
 3. 栄養指導に関する基礎知識が理解できる

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○				30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	栄養士免許をもつこと レポート提出 【予習】栄養士になる学びを考える（30分） 【復習】レポート作成（60分）	レポート
2)	栄養指導の技術と方法1 行動科学 カウンセリング 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
3)	栄養指導の技術と方法2 組織づくり 地域づくり 環境づくり 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）	
4)	栄養指導の技術と方法3 計画作成 目標 方法 教材 プログラム 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
5)	栄養指導の技術と方法4 評価 アセスメント項目 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
6)	栄養状態の評価と栄養調査1 【予習】ワーク：自分の食事の秤量調査（60分） 【復習】記載方法の修正、整理（30分）	演習（調査記録作成）
7)	栄養状態の評価と栄養調査2 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】記載方法の修正箇所の確認（30分） 【復習】計算方法の確認（30分）	演習（朝食）
8)	栄養状態の評価と栄養調査3 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】計算方法の修正箇所の確認（30分） 【復習】計算方法の確認（30分）	演習（昼食）
9)	栄養状態の評価と栄養調査4 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】評価方法の修正箇所の確認（30分） 【復習】評価方法の確認（30分）	演習（夕食）
10)	栄養状態の評価と栄養調査5 ワーク：自分の食事の秤量調査 【予習】秤量調査手法の特徴のまとめ（30分） 【復習】提出物の修正事項の確認（30分）	演習（1日まとめ）
11)	栄養指導と情報の収集・処理1 実測 観察 面接 質問紙 既存情報 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
12)	栄養指導と情報の収集・処理2 身体計測 生理生化学検査 臨床診査 食事調査 食行動等 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
13)	健康障害と栄養指導 エネルギー 塩分 たんぱく質 消化吸収 その他 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】ノート整理（30分）	
14)	特定給食施設における栄養指導 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
15)	ライフステージ別の栄養指導 妊娠期 授乳期 乳児期 学童期 思春期 成人期 高齢期 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】プリント整理（30分）	演習
授業外学習		
科学的根拠に基づいた栄養指導の情報収集を行う。 テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト「栄養士・管理栄養士のための栄養指導論」（学建書院） その他必要に応じて資料を配布する。		臨床栄養学 給食管理学 栄養学各論 栄養指導実習 公衆栄養学

課題に対するフィードバック
秤量調査は、一人一人に確認する。
備考
授業中、課題を行い提出すること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】 決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	栄養指導実習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	前期
担当者名	末吉 奈保美、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は対面及び遠隔で実施する。
人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、栄養指導論で学んだ知識や技術を応用し、具体的な進め方を学び、実際に対象に働きかける体験をする。
栄養指導の実務経験をもとに、体験実習や食講座の実施に向けてグループワークで、計画作成、実践、評価を体験する実習を行う。

到達目標

- M3204a
1. 栄養指導の流れが理解できる。
2. 食生活アドバイスに必要な知識や技術が理解できる。
3. PDCAサイクルに沿った栄養指導ができる。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		5
プレゼンテーション	○			○			5
グループワーク			○		○		5
演習							5
実習	○	○	○	○	○		20

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 食育とは 食育の背景 【予習】栄養・食生活の課題を調べる（20分）【復習】ノート整理（10分） 2) 朝食摂取・野菜摂取・減塩について考える（ソロワーク・演習） 【予習】現状把握（20分）【復習】ノート整理（10分） 3) 食育について（ソロワーク・演習） 【予習】現状把握（10分）【復習】指導計画考案（20分） 4) 食育媒体作成（ソロワーク・実習） 【予習】材料準備（20分）【復習】課題提出（10分） 5) 集団プレゼン1（グループワーク・実習） 【予習】現状把握・課題抽出・計画案作成（20分）【復習】資料データ収集（10分） 6) 集団プレゼン2（グループワーク・実習）【予習】資料データ収集（20分） 【復習】発表練習（10分） 7) 集団プレゼン3（グループワーク・実習）【予習】発表準備（20分） 【復習】ノート整理（10分） 8) 対象者の食について考える（グループワーク・演習） 【予習】現状把握・課題抽出資料収集（20分） 【復習】ノート、プリント整理（10分） 9) デモンストレーション準備1【予習】資料収集（20分） 【復習】ノート、プリント整理（10分） 10) デモンストレーション準備2【予習】データ収集（20分） 【復習】データの確認（30分） 11) デモンストレーション準備3【予習】計画案の作成（30分） 【復習】計画案の修正確認（30分） 12) デモンストレーション準備4【予習】リハーサルシミュレーション（30分） 【復習】修正確認（30分） 13) デモンストレーション【予習】食材準備（60分） 【復習】最終確認（30分） 14) 食講座計画【予習】当日準備（60分） 【復習】評価（アンケート）記載、確認（30分） 15) 実習のまとめ【予習】レシピ整理（20分） 【復習】科目全体の整理（10分）		グループワーク 実習 プレゼンテーション デモンストレーション等
授業外学習		
ライフステージ別栄養学、栄養アセスメント等関連教科の復習。 グループワークの際には、各自の案を作成して臨む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト「栄養士・管理栄養士のための栄養指導論」（学建書院） 必要に応じて資料を配布するが、実習の中で関連する参考書をいくつか紹介する。		栄養指導論Ⅰ・Ⅱ 栄養学各論 栄養学実習 給食管理学校外実習

課題に対するフィードバック
確認後、成果物として配布する。
備考
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 随時、学外の健康関連イベント等を紹介するので、自主学習として積極的に参加すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	栄養指導実習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	末吉 奈保美、大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は対面及び遠隔で実施する。
人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、グループ学習や個人ワークを通して、対象者の立場を理解し、栄養指導の目的と意義を展開させ、アドバイスや情報提供できる知識や技術を学ぶ。
栄養指導の実務経験をもとに、栄養指導、支援技術を体験する実習を行う。

到達目標

- M4203a
1. 対象者の立場や、背景が理解できる。
2. 対象者の状況にあったアドバイスや情報提供ができる。
3. パワーポイントを使い、対象者にわかりやすく説明ができる。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		5
プレゼンテーション	○			○	○		10
グループワーク			○		○		10
演習	○		○				10
実習	○	○					15

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 実習のすすめ方 【予習】科学的根拠に基づく栄養指導を調べる（30分）【復習】ノート整理（30分） 2) 食講座（栄養指導）計画について 【予習】現状把握・課題抽出（30分）【復習】プリント整理（30分） 3) 食講座準備Ⅰ（課題作成） 【予習】課題調査（30分）【復習】課題提出、ノート整理（30分） 4) 食講座準備Ⅱ（試作） 【予習】課題確認（30分）【復習】ノート整理（30分） 5) 食講座準備Ⅲ（修正～完成） 【予習】課題確認（30分）【復習】ノート整理（30分） 6) 食講座準備Ⅳ（印刷・説明練習） 【予習】課題確認（30分）【復習】ノート整理（30分） 7) 食講座 【予習】当日準備（30分）【復習】評価確認（30分） 8) ロールプレイング1 【予習】栄養指導カウンセリング（15分）【復習】ノート整理（15分） 9) ロールプレイング2 【予習】個人支援（15分）【復習】ノート整理（15分） 10) ロールプレイング3 【予習】行動目標（15分）【復習】ノート整理（15分） 11) 調査と集計、評価1 栄養情報の収集・活用と調査データの解析 【予習】計画・企画・経過評価を調べる（30分）【復習】情報、ノート整理（30分） 12) 調査と集計、評価2 【予習】課題作成（30分）【復習】ノート整理（30分） 13) 子どもの食について考える1 【予習】食育資料準備（30分）【復習】食育練習（15分） 14) 子どもの食について考える2 【予習】食育準備（30分）【復習】ノート整理（15分） 15) まとめ 【予習】実習の振り返り（30分）【復習】まとめ（30分）		グループ（ペア）ワーク 実習 演習 ロールプレイング
授業外学習		
ライフステージ別栄養学、栄養アセスメント等関連教科の復習 対象者の生活背景、ニーズ、栄養状態等の情報収集		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト「栄養士・管理栄養士のための栄養指導論」（学建書院） 必要に応じて資料を配布する。		栄養指導論 臨床栄養学 臨床栄養学実習 栄養情報処理 公衆栄養学

課題に対するフィードバック
成果物は、ファイルを作成する。
備考
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 随時、学外の健康関連イベント等を紹介するので、自主学習として積極的に参加すること。 【オフィスアワー】決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp 大久保 祐花 ookubo@ube-c.ac.jp

科目名	公衆栄養学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は原則遠隔で実施する。
 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識等について学ぶ。栄養士の役割と一次予防について知る。日本の健康・栄養問題の現状を知る。国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動について知る。グループ学習を通して、公衆栄養マネジメントの考え方を知る。
 公衆栄養活動の実務経験をもとに、健康・栄養問題の現状と課題、健康・栄養・食料政策、公衆栄養マネジメントについて授業を行うとともに、演習やグループワークを実施し理解を深める。

到達目標

- M4102a
 1. 栄養士の役割として一次予防が理解でき、実践できる。
 2. 国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動が理解できる。
 3. 日本の健康・栄養問題の現状が理解できる。
 4. 公衆栄養マネジメントが理解できる。

成績評価方法

受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	公衆栄養学を学ぶ 公衆栄養活動 歴史 概念 【予習】テキストを読む（10分）【復習】演習問題（50分）	
2)	わが国の健康・栄養問題の現状と課題1 社会環境と健康・栄養問題 健康状態の変化【予習】テストを読む（10分） 【復習】地域の現状・課題・対策を調べる（50分）	演習
3)	わが国の健康・栄養問題の現状と課題2 食事の変化 食生活の変化 食環境の変化 【予習】地域の現状・課題・対策をまとめる（40分）【復習】ノート整理（20分）	演習
4)	わが国の健康・栄養問題の現状と課題3 食の安全安心と消費者の信頼確保 【予習】食の安心・安全対策を調べる（30分）【復習】ノート整理（30分）	
5)	わが国の健康・栄養・食料政策1 公衆栄養関連法規 【予習】テキストを読む（30分）【復習】演習問題（30分）	
6)	わが国の健康・栄養・食料政策2 国民健康・栄養調査 健康増進計画 食育推進基本計画 【予習】テキストを読む（30分）【復習】演習問題（30分）	演習
7)	わが国の健康・栄養・食料政策3 食生活指針 運動指針 食事摂取基準 【予習】テキストを読む（30分）【復習】演習問題（30分）	演習
8)	公衆栄養活動の実際1 公衆栄養プログラムの展開 地域特性 食環境 【予習】テキストを読む（30分）【復習】演習問題（30分）	
9)	公衆栄養活動の実際2 地域集団の特性別プログラムの展開 【予習】テキストを読む（30分）【復習】演習問題（30分）	
10)	公衆栄養マネジメント グループワーク1 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】他者の考えノート整理、データ作成（30分）	ペアワーク
11)	公衆栄養マネジメント グループワーク2 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】他者の考えノート整理、データ作成（30分）	ペアワーク
12)	公衆栄養マネジメント グループワーク3 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】他者の考えノート整理、データ作成（30分）	ペアワーク
13)	公衆栄養マネジメント グループワーク4 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】他者の考えノート整理、データ作成（30分）	ペアワーク
14)	公衆栄養マネジメント グループワーク5 【予習】テキストを読む（30分） 【復習】他者の考えノート整理、データ作成（30分）	ペアワーク
15)	公衆栄養マネジメント まとめ 【予習】公衆栄養マネジメントのまとめ（30分） 【復習】科目全体のまとめ（30分）	
授業外学習		
テキスト等で予習・復習し、内容を理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト「エスカパーシク 公衆栄養学概論」（同文書院） その他必要に応じて資料を配布する。		栄養指導論 公衆衛生学

課題に対するフィードバック
全体発表等により共有する。
備考
授業中に課題を行い提出すること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。 【オフィスアワー】 決定後別途掲示 末吉 奈保美 sueyoshi@ube-c.ac.jp

科目名	調理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	山下 晋平	関連する資格	栄養士免許必修 フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修	

授業概要

本授業は、原則対面で行います。
 調理の基本として、調理の意義、調理操作の種類と目的を理解する。また食事計画から調理し、実際に食事を提供するまでの過程について学修する。普段何気なく行っている調理を、科学的に捉え、調理操作が栄養素に及ぼす影響、安全性、嗜好性などについて学修する。

到達目標

M1105abc

1. 調理の意義、目的、役割を知る
2. 食品の特徴に応じた調理方法を理解できる
3. 調理操作について各操作の特徴を知る
4. 各食品の調理性、代表的な調理を学び、科学的に理解できるようになる

成績評価方法

小テスト、定期試験、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○	○					40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 調理学の基本について 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
2) 食品成分表の理解と活用 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
3) 食事設計の考え方と食べ物のおいしさ 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
4) 調理操作の種類と目的 ①非加熱操作 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題 小テスト①
5) 調理操作の種類と目的 ②加熱操作 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
6) 食品の特徴に応じた調理操作 ①植物性食品 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題 小テスト②
7) 食品の特徴に応じた調理操作 ②動物性食品 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
8) 食品の特徴に応じた調理操作 ③ゲル化剤・とろみ材 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
9) 中間テスト(調理操作について) 【予習・復習】教科書を読む(20分)		中間テスト
10) 調理操作による栄養成分の変化 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
11) 調理操作による栄養学的・機能的利点① 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
12) 調理操作による栄養学的・機能的利点② 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
13) 献立作成と料理様式 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
14) 調理文化(料理様式別の食事構成や食文化について) 【予習・復習】教科書を読む(20分)		確認問題
15) 講義全体のまとめ 【予習・復習】教科書を読む(20分)		小テスト③
授業外学習		
予習として教科書を読んでおくこと。復習では、毎回の授業で行う確認問題で授業のポイントを定着させる。確認問題、小テストで出た内容を自分の言葉で説明できるように復習すること。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「調理学の基本 第6版」中嶋加代子編著（同文書院） 「新食品成分表FOODS 2021」新食品成分表編集委員会編集	基礎調理学実習、調理学実習Ⅰ～Ⅲ、食品学各論	

課題に対するフィードバック
毎回の授業で行う確認問題は、次の授業の始めに返却し、解答とポイントを解説します。
備考
確認問題では、計算問題もあるので、毎回の授業に電卓をもってくること。 【オフィスアワー】授業の前後で対応します。

科目名	調理学実習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	1年	後期
担当者名	山下 晋平、大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許必修 フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修	

授業概要

本授業は、原則対面で行います。

栄養を目指す学生は調理技術を身に付けていることが必要とされるため、日本料理に加えて日常的となった西洋料理の基本技術を習得する。また季節の献立や行事食、献立構成や食卓を整える方法を身につける。

到達目標

M2203abc

1. 西洋料理の基本の調理操作や材料の扱いを習得する
2. グループ実習を通して、互いの技術を磨き、調理法の理解を深める
3. 日本料理の試食会を通して、和食のマナーを身に付ける
4. 衛生的に効率よく、調理、片付け、清掃ができるようになる

成績評価方法

実習への意欲・態度、レポート、実技試験及び定期試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○					
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) 調理学実習Ⅰの概要説明及び調味計算について 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 2) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 3) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 4) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 5) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 6) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 7) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 8) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 9) 実技試験 【予習】試験の練習(30分) 【復習】試験の復習(30分) 10) 行事食　クリスマス料理 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 11) 行事食　正月料理 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 12) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 13) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 14) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 15) 西洋料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		グループワーク
授業外学習		
1. 実習後の翌週までにレポートを提出すること。 2. 実習後に来週のレシピを配布するので、作り方を予習しておき、各料理の調味計算をしておくこと。実習前に調味計算の答えを書いてもらって答え合わせをするので、全員が取り組んでくるようにする。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「調理学の基本 第5版」中嶋加代子編著（同文書院） 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本仲子(女子栄養大学出版部) 「新食品成分表F00DS 2021」新食品成分表編集委員会編集	調理学、基礎調理学実習、調理学実習Ⅱ、調理学実習Ⅲ	

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点等があれば修正し、再提出をしてもらいます。 レポートを1通でも提出していないものは「不可」とするので注意すること。
備考
・身支度を清潔に整えて実習に臨むこと ・実習中は返事等をしっかりし、調理作業は意欲的に望むこと 【オフィスアワー】実習の前後で対応します

科目名	調理学実習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	2年	前期
担当者名	山下 晋平、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許必修 フードコーディネーター資格必修	

授業概要

本授業は、原則対面で行います。

栄養士を目指す学生は調理技術が身につけていることが必要とされる。和食、洋食に加えて、料理の幅を広げるため、日常的な中華料理について習得する。さらに季節の献立や行事食等も理解すると同時に、調理技術を磨き、効率よく調理作業ができるようになる。

到達目標

M3205ac

1. 中華料理についての献立作成、特殊材料や器具の使用、食事作法について習得する
2. 季節の献立や行事食を理解する
3. 西洋料理の試食会を通して、西洋マナーの習得する
4. 衛生的に効率よく、調理、片付け、清掃ができるようになる

成績評価方法

実習への意欲・態度、レポート、実技試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				50
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) 調理学実習Ⅱの概要説明及び調味計算について 【予習】基礎調理学実習、調理学実習Ⅰの復習(20分)		グループワーク
2) 季節に応じた日本料理の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
3) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
4) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
5) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
6) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
7) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
8) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
9) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
10) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
11) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
12) 中華料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
13)) 実技試験 【予習】試験の練習(30分) 【復習】試験の復習(30分)		
14) 季節に応じた日本料理の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
15)) 季節に応じた日本料理の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
授業外学習		
1. 実習後の翌週までにレポートを提出すること。 2. 実習後に来週のレシピを配布するので、作り方を予習しておき、各料理の調味計算をしておくこと。実習前に調味計算の答えを書いてもらって答え合わせをするので、全員が取り組んでくるようにする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「調理学の基本 第5版」中嶋加代子編著（同文書院） 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本伸子(女子栄養大学出版部)		調理学、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅲ

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点等があれば修正し、再提出をしてもらいます。 レポートを1通でも提出していないものは不可とするので注意すること。
備考
・身支度を清潔に整えて実習に臨むこと ・実習中は返事等をしっかりし、調理作業は意欲的に望むこと 【オフィスアワー】実習の前後で対応します

科目名	調理学実習Ⅲ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	山下 晋平、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許必修	

授業概要

本授業は、原則対面で行います。

「調理学」「基礎調理学実習」「調理学実習Ⅰ」「調理学実習Ⅱ」で学んだ知識・技術をもとに、栄養士として調理現場に求められる実践的な能力を身に付ける。また対象者に適した献立作成から調理まで、主体的に計画して効率よく調理作業ができるようになる。

到達目標

M4204a

1. 食事基準や食品構成に基づいた献立の作成、調理ができるようになる
2. 食材を生かした目的別の調理能力を身に付ける
3. 衛生的に効率よく、調理、片付け、清掃ができるようになる

成績評価方法

実習への意欲・態度、レポート、実技試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) 調理学実習Ⅲの概要及び調味計算の復習 【予習・復習】調味計算の予習・復習をする(20分)		グループワーク
2) 季節に応じた日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
3) 諸外国料理の献立形式による班単位での実習 【予習・復習】作成する献立を考える(30分)		
4) 諸外国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
5) 諸外国料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
6) 山口県郷土料理の実習 【予習・復習】作成する献立を考える(30分)		
7) 献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
8) 献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
9) 実技試験 【予習】試験の練習(30分) 【復習】試験の復習(30分)		
10) 季節に応じた日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
11) 山口県郷土料理の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
12) 行事食(クリスマス料理)の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
13) 行事食(正月料理)の実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
14) 献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分)		
15) 献立形式による班単位での実習 【予習】調理学実習Ⅲの振り返り(20分) 【復習】2年間の振り返り(20分)		
授業外学習		
1. 実習後の翌週までにレポートを提出すること。 2. 実習後に来週のレシピを配布するので、作り方を予習しておき、各料理の調味計算をしておくこと。実習前に調味計算の答えを書いてもらって答え合わせをするので、全員が取り組んでくるようにする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「調理学の基本 第5版」中嶋加代子編著（同文書院） 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本伸子(女子栄養大学出版部)		調理学、基礎調理学実習、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点等があれば修正し、再提出をしてもらいます。 レポートを1通でも提出していないものは「不可」とするので注意すること。
備考
・身支度を清潔に整えて実習に臨むこと ・実習中は返事等をしっかりし、調理作業は意欲的に望むこと 【オフィスアワー】実習の前後で対応します

科目名	給食管理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	幸 恵里	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は遠隔で実施する。
 食事と健康の関連を知り、健康づくりを目指すための「栄養バランスの取れた食事」の重要性と、それを提供する給食の意義について理解する。さらに、特定給食施設の種類と特徴および給食の運営に必要な栄養管理をはじめとする種々の管理業務について理解する。
 栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、給食管理学について授業を行う。

到達目標

- 給食の意義および給食の運営業務の基礎知識を理解する。
 特に、栄養・食事管理、安全・衛生管理、調理管理(食材管理を含む)は基本となるので、各管理の業務内容を理解する
- 特定給食施設について理解する。
- 特定給食施設における栄養士業務を理解する。

成績評価方法

定期試験(70%)、小テスト(20%)、授業態度(10%)

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	食事と健康とのかかわり、栄養バランスを考えた食事について 【予習】栄養と健康の関連（30分） 【復習】授業内容の復習（60分）	
2)	給食の定義と目的、関連法規 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
3)	給食の栄養・食事管理の目的 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
4)	給食の献立計画、給与栄養目標量から献立作成まで 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	小テスト
5)	給食の栄養・食事管理の評価 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
6)	給食と栄養教育・栄養指導 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	小テスト
7)	給食の安全・衛生管理、大量調理施設衛生管理マニュアル、事故・災害対策 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
8)	給食の食材管理 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	小テスト
9)	給食の調理作業管理 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
10)	給食の施設・設備管理 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	小テスト
11)	給食の業務委託と配食サービス 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
12)	保健・医療・福祉・介護における給食施設（学校、病院） 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
13)	保健・医療・福祉・介護における給食施設（福祉施設、事業所） 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
14)	給食の組織・人事管理 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
15)	給食の会計・原価管理、情報処理管理 【予習】教科書、資料を読む（30分） 【復習】授業内容の復習	
授業外学習		
献立作成ができるように食品、料理、料理に関する知識を深める。 食事摂取基準（給与栄養目標量）、食品構成に関する理解を深め、栄養価計算のスキルを高める。 地域における給食施設に関心を持つ。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「給食の運営・栄養管理・経営管理-」逸見幾代・平林真弓編著（建帛社） 「新食品成分表 F00DS 2021」		調理学 給食管理学実習 給食実務実習 給食管理学校外実習

課題に対するフィードバック
小テストは定期的に実施、採点して結果を返す。解答とポイントを説明する。
備考
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	給食管理学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	1年	後期
担当者名	幸 恵里、大久保 祐花、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。

食事と健康の関連を理解し、健康づくりを目的にした「栄養バランスのとれた食事」の献立作成から提供までを、給食実習（大量調理）の方法で実施する。グループでの実習を通して、計画（P）→実施（D）→評価（C）→改善（A）のマネジメントサイクルにそった給食の運営方法を体験するとともに、喫食者に対する栄養教育やサービスのあり方についても修得する。

幸 恵里は、栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

大久保 祐花は、管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

有福 璃果は、栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

到達目標

- 1.給食管理の目的に沿って実際に給食提供を体験し、給食の運営に関する知識と技術を習得する。
- 2.グループワークにおいて、自分の役割を認識し、協力して作業ができる技能を身につける。
- 3.グループワークにおいて、自分の意見を述べる力を身につける。
- 4.実習報告会を行い、給食を評価する力を身につける。

成績評価方法

グループワーク（60%）、期末試験（30%）、授業態度（10%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○				○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		60
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
1.オリエンテーション①（幸、大久保、有福） 実習班の決定、実習概要、献立計画、栄養価計算の実際、栄養管理に必要な算術等 【予習・復習】教科書第8章（60分） 2.オリエンテーション②（幸、大久保、有福） 実習各種帳票の記録方法と必要な算術 【予習・復習】実習の手引き（60分） 3.オリエンテーション③（幸、大久保、有福） 給食施設設備の概要、大量調理の技術等 【予習・復習】大量調理の特徴（60分） 4.プレ実習（幸、大久保、有福） スチコンの操作、簡単な大量調理の実際 【予習・復習】スチコンの特徴と機能（60分） 5.役割分担、献立立案（幸、大久保、有福） 【予習・復習】教書書第1章、実習の手引き（60分） 6.試作、予算見積り、食数把握（幸、大久保、有福） 【予習・復習】実習の手引き、調理操作（60分） 7.調理作業計画、発注計画、媒体作成（幸、大久保、有福） 【予習・復習】実習の手引き、書類作成（60分） 8.給食実習、嗜好調査（幸、大久保、有福） 【予習・復習】作業工程表、調理操作（60分） 9.帳票整理、1回目実習のまとめ・評価（幸、大久保、有福） 【予習・復習】教科書第3章、書類作成（60分） 10.役割分担、献立立案（幸、大久保、有福） 【予習・復習】教書書第1章、実習の手引き（60分） 11.試作、予算見積り、食数把握（幸、大久保、有福） 【予習・復習】実習の手引き、調理操作（60分） 12.調理作業計画、発注計画、媒体作成（幸、大久保、有福） 【予習・復習】実習の手引き、書類作成（60分） 13.給食実習、嗜好調査（幸、大久保、有福） 【予習・復習】作業工程表、調理操作（60分） 14.帳票整理、2回目実習のまとめ・評価（幸、大久保、有福） 【予習・復習】教科書第3章、書類作成（60分） 15.次週全体のまとめ、改善点の検討（幸、大久保、有福） 実習ごとの報告（プレゼン） 【予習・復習】実習のまとめ資料、給食献立集（60分）	授業は全て対面で実施する 1.～3.個人ワーク 4.～14.グループワーク 15.プレゼン グループディスカッション
授業外学習	
試作および給食実習では、前日の準備・後日の片づけを要す。 調理の基礎知識と技術の習得に努める。特に、庖丁技術を高めておく。 献立作成、栄養価計算が円滑にできるように繰り返し練習をする。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
配布資料（本学学内実習の手引き）	給食管理学 給食実務実習 給食管理学校外実習 調理学 調理学実習

課題に対するフィードバック
班に分かれ、5～9で1サイクルとし、各班がサミダレ式で業務を進める。詳細は初回授業にて説明する。 給食実習（大量調理実習）は8時50分より開始する。 専用の実習着が必要。給食実習に際しては腸内細菌検査結果が必要。
備考
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	給食実務実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	前期
担当者名	幸 恵里、大久保 祐花、有福 璃果	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は、対面で実施する。

給食管理学校外実習に向けて展開させていく授業内容施になる、特定給食施設（保育所、高齢者福祉施設、病院等）の対象者（利用者）の身体的・栄養的特徴を把握するとともに、給食の運営について具体的に理解する。さらに、校外実習の目的や実習生としての心構え等について理解する。

幸 恵里は、栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

大久保 祐花は、管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

有福 璃果は、栄養士・管理栄養士の実務経験をもとに、給食実習について授業を行う。

到達目標

1. 校外実習に向けて、実習施設先となる特定給食施設の特徴、対象者および給食の実態を理解する。
2. 対象者に適切な献立立案と給食計画ができる技能を身につける。
3. グループワークにおいて、自分の役割について認識し、協力して作業ができる技能を身につける。
4. グループワークにおいて、自分の意見を述べる技能を身につける。
5. 実習生として具備すべき知識と技能を修得し、マナーを身につける。

成績評価方法

グループワーク（60％）、定期試験（30％）、授業態度（10％）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（％）
定期試験(中間・期末)	○	○	○				30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		60
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1. 保育所給食献立の作成・実習（幸、大久保、有福） 【予習・復習】給食施設について（60分） 2. 保育所給食実習・校外実習ガイダンス①（幸、大久保、有福） 【予習・復習】献立計画について（60分） 3. 保育所給食献立の実習・実習のまとめ（幸、大久保、有福） 【予習・復習】献立作成（90分） 4. 給食実習の献立作成・展開食を考える（幸、大久保、有福） 【予習・復習】献立作成、試作（60分） 5. 試作、帳票類の作成（幸、大久保、有福） 【予習・復習】資料作成（60分） 6. 帳票類の作成（幸、大久保、有福） 【予習・復習】資料作成（60分） 7. 帳票類の作成（幸、大久保、有福） 【予習・復習】資料作成（60分） 8. 給食実習（幸、大久保、有福） 【予習・復習】作業工程、調理操作（60分） 9. 給食実習のまとめ（幸、大久保、有福） 【予習・復習】帳票類のまとめ（60分） 10. 給食実習のまとめ（幸、大久保、有福） 【予習・復習】帳票類のまとめ（60分） 11. 給食実習報告会（幸、大久保、有福） 【予習・復習】大量調理についての報告（60分） 12. 病院給食、高齢者福祉施設給食の特徴（幸、大久保、有福） 【予習】病院、高齢者福祉施設給食の特徴（30分） 【復習】レポート課題（60分） 13. 校外実習ガイダンス②（幸、大久保、有福） 【予習・復習】校外実習要領（60分） 14. 校外実習ガイダンス③（幸、大久保、有福） 【予習・復習】校外実習要領（60分） 15. 実習課題の準備（幸、大久保、有福） 【予習・復習】校外実習要領、実習施設の情報収集（60分）		1. 個人ワーク、グループワーク 2. 個人ワーク、グループワーク 3. 個人ワーク 4. グループワーク 5. グループワーク 6. グループワーク 7. グループワーク 8. プレゼン、グループワーク 9～13. 個人ワーク 14、15. 個人ワーク、グループワーク
授業外学習		
献立作成の基本を身につけておく 校外実習に必要な書類等の作成・提出に向けた準備をする 給食管理学・給食管理額実習で用いた教科書を復習する		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
配布資料（校外実習要領）		給食管理学 給食管理学実習 給食管理学校外実習

課題に対するフィードバック
献立課題はコメントを添えて返します。
備考
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	給食管理学校外実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	前期
担当者名	幸 恵里、大久保 祐花	関連する資格	栄養士免許 必修	

授業概要

本授業は対面で実施する。
 実習施設の社会的機能および給食の特徴を理解するとともに、給食業務を行なうために必要な食事計画や調理を含めた給食サービス提供に関する知識と技術を身につける。さらに、対象者の身体や栄養状態などに適応した給食の実際も学び、栄養士としての実践力を修得する。

到達目標	成績評価方法
1. 特定給食施設における給食業務について修得する。 2. 給食業務の概要を実践することにより栄養士として具備すべき知識および技能を習得する。 3. 実習生として、自分の立場と役割を認識し、協力して作業ができる技能を身につける。	実習（70%）、レポート・日誌（20%）、授業態度（10%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）	アクティブラーニング
1.給食施設における調理工程・調理技術の習得 調理工程の理解 献立表による調理工程の理解 給食施設における調理技術の習得 衛生面に配慮した調理作業、能率的な作業、機械・機器の種類と使用方法を学ぶ 2.給食の流れおよび1日の給食業務の流れの習得 給食の流れを把握する 食材料の発注・管理 1日の給食業務の流れを把握する 給食と栄養指導の連携 3.給食業務における事務管理、コンピュータ利用等の習得 給食の流れにそった書類・栄養出納表について学ぶ 栄養計算ソフトや給食管理ソフトについて学ぶ 配布資料・媒体について学ぶ 給食に関わる調査と集計について学ぶ 4.コミュニケーション能力・社会人基礎力の習得 社会人として求められる基礎力の習得	
授業外学習	
実習事前準備として、実習施設や給食の特徴について理解を深め、課題や献立作成に積極的に取り組む。 実習期間中に学んだ内容を整理してまとめ、報告会に向けて取り組む。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
配布資料	給食管理学 給食管理学実習 給食実務実習

課題に対するフィードバック
提出した加害についてはコメントを添えて返す 実習課題については実習指導栄養士と協議し、実習期間中に完了させる 実習報告会にくけた報告集原稿、PPT内容については担当教員がアドバイスをする
備考
実習施設の条件は、特定給食施設で、管理栄養士または栄養士が専従すること。 実習施設は、病院、高齢者施設、保育園等より1施設を選択する。 実習期間は2週間（10日間）とする。原則として、夏季休業中に実施する。 校外実習ガイダンスは「給食実務実習」で行うので、必ず出席すること。 栄養士免許取得に対し意欲をもって取り組む。実習生の条件を満たすこと。単位修得が順当であること。 実習に際し、腸内細菌検査を要する。実習施設によっては健康診断書、抗体検査結果等の提出が必要な場合がある。
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	給食管理学校外実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	幸 恵里、大久保 祐花	関連する資格		栄養士免許 必修

授業概要

本授業は、対面で実施する。

実習施設の社会的機能および給食の特徴を理解するとともに、給食業務を行うために必要な食事計画や調理を含めた給食サービスに関する知識と技能を身につける。さらに、対象者の身体状況や栄養状態などに適応した給食の実際も学び、栄養士としての実践力を修得する。

到達目標

1. 特定給食施設における給食業務について理解する。
2. 給食業務の概要を実践することにより、栄養士として具備すべき知識および技能を習得する。
3. 実習生として、自分の立場と役割を認識し、協力して作業ができる技能を身につける。

成績評価方法

実習（70%）、レポート・日誌（20%）、授業態度（10%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	70

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1.給食施設における調理工程・調理技術の習得 調理工程の理解 献立表による調理工程の理解 給食施設における調理技術の習得 衛生面に配慮した調理作業、能率的な作業、機械・機器の種類と使用方法を学ぶ 2.給食の流れ（給食計画）および1日の給食業務の流れの習得 給食の流れを把握する 食材料の管理（発注、購入、納品、在庫管理） 1日の給食業務の流れを把握する 給食と栄養指導の連携 3.給食業務における事務管理、コンピューター利用等の習得 給食の流れにそった書類・栄養出納等について学ぶ 栄養価計算ソフトや給食管理ソフトについて学ぶ 配布資料・媒体について学ぶ 給食に関わる調査と集計について学ぶ 4.コミュニケーション能力・社会人基礎力の習得 社会人として求められる基礎力の習得		実習
授業外学習		
実習事前準備として、実習施設や給食の特徴について理解を深め、課題や献立作成に積極的に取り組む。 実習期間中に学んだ内容を整理してまとめ、報告会に向けて取り組む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
配布資料		給食管理学 給食管理学実習 給食実務実習

課題に対するフィードバック
提出した課題についてはコメントを添えて返す。 実習課題については実習指導栄養士と協議して決定し、実習期間中に完成させる。 実習報告会（発表）に向けた報告集原稿、PPT内容については担当教員がアドバイスをする。
備考
実習施設の条件は、特定給食施設であること、栄養士・管理栄養士が専従すること。 実習施設は、病院、高齢者施設、保育所等より1施設を選択する。 実習は原則として夏季休業中に実施する。 校外実習ガイダンスは「給食実務実習」で行うので、必ず出席のこと。 栄養士免許取得に対し意欲を持って取り組み、単位習得が順当であること。 実習に際し、腸内細菌検査結果が必要。実習施設によっては、健康診断書や抗体検査結果の提出を求められることがある。
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	食品鑑別論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	飯田 亮平	関連する資格	フーズスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修	

授業概要

本授業は対面または遠隔で実施する。

- 1) 食品の化学的、物理的な評価の方法
- 2) 嗜好に直接結びつく官能検査の手法とその統計的解析法
- 3) 個々の食品の鑑別法
- 4) 食品選択のための情報源である表示、法的規制、マークの持つ意味について学ぶ

到達目標

多くの食品の中から安全で目的に応じた食品を選択するために、その食品の品質を見抜く知識・技能が習得できるようになる。また、食品の表示から情報を読み取る力がつく。

成績評価方法

定期試験、小テスト・レポート、授業への意欲・態度

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 食品の品質とは：食品の特性、品質、官能評価：官能評価の概要 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
2) 官能評価：官能評価の基本と 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
3) 官能評価：官能評価の実施法 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
4) 化学的評価法：食品成分と品質 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
5) 化学的評価法：化学的品質評価、物理的評価法：食品の状態 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
6) 物理的評価法：レオロジーとテクスチャー、色の評価方法、非破壊検査法 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
7) 個別食品の鑑別：米、麦類、トウモロコシ 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
8) 個別食品の鑑別：穀類、イモ類、豆類 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
9) 個別食品の鑑別：種実類、野菜類、キノコ類、果実類 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
10) 個別食品の鑑別：海藻類、魚介類、肉類 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
11) 個別食品の鑑別：卵とその加工品、乳と乳製品 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
12) 個別食品の鑑別：油脂、菓子類、酒類 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
13) 個別食品の鑑別：茶類、コーヒー、ココア、清涼飲料、醸造食品、調味料 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
14) 個別食品の鑑別：香辛料、インスタント食品、冷凍食品、弁当 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
15) 個別食品の鑑別：機能性食品 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
授業外学習		
毎回授業の復習をして下さい。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「食品の官能評価・鑑別演習」日本フードスペシャリスト協会編（建帛社）	食品学	

課題に対するフィードバック
授業内で小テストを実施します。
備考
進行状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	食品流通論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	種市 豊、橋本 芙奈	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター資格 必修	

授業概要

食料、特に農産物に関する経済的現象である消費、流通、市場について一般流通論と農産物流通論の基礎知識を講義する。また、現在農産物流通が抱えている問題の今後のあり方を含めて講義する。なお、本講義では、教科書の内容＋現在食品流通で起こっている新たな事象の解説も行う。なお、担当者は、長きにわたり企業・大学機関で食品流通に関する業務に携わってきた。食品流通の現場との関係深いことから、より現場に近い講義内容である。授業は-google-クラスルームを活用した遠隔授業で実施する。

到達目標

ナンバリング(M4103bc)
農産物の流通を経済的観点から理解する。食と農の関連についてグローバル、そしてローカルに判断する目を養う。

成績評価方法

授業内レポート、授業態度、学期末試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			40
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 食品の消費と流通 1) 食生活の変化(種市) 【予習30分・復習30分】教科書P2～17に目を通す		授業内レポート
2) 食品の消費と流通 2) 消費者行動の変化、食の多様化（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P18～30に目を通す		授業内レポート
3) 食品の消費と流通 3) 食品流通の役割と社会的使命（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P34～44に目を通す		授業内レポート
4) 食品の消費と流通 4) 食品の小売流通（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P44～59に目を通す		授業内レポート
5) 外食・中食産業のマーチャンダイジング（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P60～70に目を通す		授業内レポート
6) 主要食品の流通① 商品の分類、温度帯別食品流通（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P62～80に目を通す		授業内レポート
7) 主要食品の流通② 米・小麦粉・野菜果物（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P80～87に目を通す		授業内レポート
8) 魚介類・食肉・鶏卵・牛乳乳製品の流通（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P87～100に目を通す		授業内レポート
9) 大豆加工品・漬物・惣菜・油脂・調味料の流通（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P98～112に目を通す		授業内レポート
10) 菓子、茶・コーヒー、清涼飲料水・酒類の流通（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P113～125に目を通す		授業内レポート
11) フードマーケティングとフードビジネス（橋本） 【予習30分・復習30分】教科書P126～139に目を通す		授業内レポート
12) 食品消費と環境問題（種市） 【予習30分・復習30分】教科書P140～144に目を通す		授業内レポート
13) 食品流通の安全確保（種市） 【予習30分・復習30分】教科書P144～147に目を通す		授業内レポート
14) 食品消費を取り巻く課題（種市） 【予習30分・復習30分】教科書P147～153に目を通す		授業内レポート
15) まとめ（種市） 教科書全体に目を通す		授業内レポート
授業外学習		
授業計画に沿って、テキストの該当単元を熟読してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『三訂 食品の消費と流通』日本フードスペシャリスト協会編 (建帛社)		食品学各論、食品加工学、フードスペシャリスト論

課題に対するフィードバック
建設的な質問、コメントは、講義内で議論する。
備考
教科書の指示は、第一回目講義で行います。 【オフィスアワー】事前にメールをお願いします。taneichi@yamaguchi-u.ac.jp

科目名	フードスペシャリスト論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	飯田 亮平	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修	

授業概要

本授業は対面または遠隔で実施する。
 フードスペシャリストの意義や概要、専門職として備えておくべき知識や技術について1回目から8回目まで授業で総括的に講義する。また、理解度を確認するため、小テストおよびまとめのテストを行う。本授業はフードスペシャリスト資格認定試験の対策授業でもあるため、試験に合格できる力を養うため、9回目以降の授業で過去問を解き、実力と意識の向上を図る。

到達目標

流通や販売での活躍が期待される“フードスペシャリスト”資格の専門性を理解する。
 フードスペシャリストとして必要な知識を身につける。
 フードスペシャリスト資格認定試験に合格できる力を身につける。

成績評価方法

定期試験、小テスト、授業への意欲・態度で成績を評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				60
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) フードスペシャリストとは 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
2) 人類と食物 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
3) 世界の食 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
4) 日本の食 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
5) 現代日本の食生活 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
6) 食品産業の役割 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
7) 食品の品質規格と表示：法律、JAS法、食品表示法 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		小テスト
8) 食品の品質規格と表示：健康や栄養に関する表示、その他の法令 【予習・復習】該当範囲を教科書で予習、授業後はプリントで復習（30分）		
9) 食情報と消費者保護、フードスペシャリスト論まとめ		小テスト
10) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
11) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
12) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
13) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
14) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
15) 模擬試験：フードスペシャリスト試験過去問 【予習・復習】配布プリントで予習・復習（60分）		模擬試験
授業外学習		
フードスペシャリスト資格認定試験の過去問をしっかりと解いてください。 毎回授業の復習を行ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
日本フードスペシャリスト協会 編 「フードスペシャリスト論」（建帛社）		食品学総論、食品学各論、食品衛生学、食品加工学、食品鑑別論、栄養学総論、栄養学各論、調理学、食品流通論、フードコーディネート論

課題に対するフィードバック
小テストを行い、翌週に採点して返却します。
備考
進行状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	食文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	櫻井 菜穂子	関連する資格	フードコーディネーター3級資格 必修	

授業概要

本授業は対面で実施する。世界の食文化の形成とその環境について習得し、日本の食文化形成のプロセス、食材・調理法・食事作法などの伝承的な食文化を学習することによって、これからの日本の食のあり方について考える。

到達目標

ナンバリング(M2107c)

- 1.歴史的な体験の集積である食の文化を学ぶことで、今後の日本食のあり方を考えることができる。
- 2.食の歴史を学ぶことで、日本食、郷土食の存在価値を理解することができる。
- 3.さらに和食文化について考え続けることができる。

成績評価方法

授業への意欲・態度、課題レポートなどを総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				70
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	食文化論の概要 文化としての食 食文化の定義 【復習】教科書、資料を復習（30分）	
2)	世界の食文化の形成と環境 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
3)	食と文明 DVD視聴① 人間は何を食べてきたのか 【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）	ディスカッション
4)	食と文明 DVD視聴② 食と文明と未来 【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）	ディスカッション
5)	日本の食文化の形成と自然環境 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
6)	日本人は何を食べてきたのか ～日本の食文化の特徴 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
7)	異文化交流による食文化 VHSの視聴 「舶来の日本料理」 【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）	ディスカッション
8)	日本人は何を食べてきたのか ～主食の文化～ 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
9)	日本人は何を食べてきたのか ～副食の文化～ 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
10)	日本料理の形成と発展 VHSの視聴 「もてなしの心」 【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）	ディスカッション
11)	行事食と儀礼食 【復習】教科書、資料の復習（30分）	
12)	郷土料理の形成と要因 【復習教科書、資料の復習（30分）	
13)	山口の食文化と郷土料理 【復習教科書、資料の復習（30分）	
14)	食事作法、お茶の歴史 抹茶を点てみよう 【復習】体験をレポート作成（20分）	演習
15)	これからの日本の食のあり方 DVD視聴「食と農を安心で結ぶ」 【復習】DVD視聴のレポート作成（20分）	
授業外学習		
地域の食材や食文化などに興味をもち、調べたり、聴いたり、食べたりして自ら情報収集して知識だけでなく、実体験を増やす		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「日本の食文化ーその伝承と食の教育」 江原絢子・石川 尚子編著（アイ・ケイコーポレーション）		調理学、食品学総論、食品学各論、食品加工学、

課題に対するフィードバック
レポートはコメントを付けて返却する
備考

科目名	基礎調理学実習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	必修	1	1年	前期
担当者名	山下 晋平、大久保 祐花	関連する資格	フードスペシャリスト資格必修 フードコーディネーター資格必修	

授業概要

本授業は、原則対面で行います。

料理の基礎的な調理操作、調味操作、調理の基本である包丁法を理解し、基本技術や調理法の習得する。またグループ実習を通じて、計画的に協同して作業を進めていく方法を身に付ける。

到達目標

M1107bc

1. 日本料理の基本的な調理法が理解できる。
2. 日本料理の基本調味が理解でき、おいしく調味できる。
3. 主な食品素材の扱い方が理解でき、実践できる。
4. 基礎的な包丁技術ができるようになる。
5. 衛生的に効率よく、調理、片付け、清掃ができるようになる

成績評価方法

実習への意欲・態度、レポート、実技試験による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1)調理設備と道具類の説明、実習の諸注意、レポートの書き方 2)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 3)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 4)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 5)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 6)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 7)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 8)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 9)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 10)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 11)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 12)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 13)実技試験 【予習】試験の練習(30分) 【復習】試験の復習(30分) 14)日本料理の献立形式による班単位での実習 【予習】レシピを読む、調味計算をする(20分) 【復習】レポート作成(60分) 15)基礎調理学実習のまとめ、調味計算の復習 【予習・復習】基礎調理学実習で配布した資料を読む(20分)		グループワーク
授業外学習		
1.実習後の翌週までにレポートを提出すること。 2.実習後に来週のレシピを配布するので、作り方を予習しておき、各料理の調味計算をしておくこと。実習前に調味計算の答えを書いてもらって答え合わせをするので、全員が取り組んでくるようにする。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
「調理学の基本 第5版」中嶋加代子編著（同文書院） 「調理のためのベーシックデータ第5版」松本伸子(女子栄養大学出版部)	調理学、調理学実習Ⅰ、調理学実習Ⅱ、調理学実習Ⅲ	

課題に対するフィードバック
レポート提出後、コメントをつけ返却します。不十分な点等があれば修正し、再提出をしてもらいます。 レポートを1通でも提出していないものは不可とするので注意すること。
備考
・身支度を清潔に整えて実習に臨むこと ・実習中は返事等をしっかりし、調理作業は意欲的に望むこと 【オフィスアワー】実習の前後で対応します

科目名	フードコーディネート論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	幸 恵里	関連する資格	フードスペシャリスト資格 必修 フードコーディネーター3級資格 必修	

授業概要

本授業は、遠隔で実施する。
 フードコーディネーターとは、食べることにしかかわる様々な場において、食物のおいしさ、雰囲気、感情など多岐にわたる条件を調整して、満足のいく場面を演出することである。食事を「栄養摂取としての食」「文化としての食」と捉え、食物のおいしさについての基礎知識、食事を提供する場面での快適性やホスピタリティーの必要性、食べる人が食に対して何を求めているかを察知してコーディネートできる力を修得する。また、現代の食環境についての課題に気づき、これからの日本の食生活進むべき方向性を理解する。

到達目標

- 1.食物のおいしさにかかわる要因を理解する
- 2.食物を提供する場面でのアイテムの種類と特徴を理解し、演出ができる
- 3.食事を提供する場面でのコーディネートの方法を理解する
- 4.食文化、現代の食環境を理解する

成績評価方法

期末テスト（70%）、小テスト（20%）、授業態度（10%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				70
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	フードコーディネートの基本理念、おいしさの本質 【予習】教科書p1～10を読んでくる（30分） 【復習】まとめの内容を復習する（60分）	
2)	フードコーディネートの基本理念、おいさとフードコーディネート 【予習】教科書p11～13を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	小テスト
3)	食事文化 日本の食事の歴史 【予習】教科書p16～28を読んでくる（30分） 【復習】まとめ、小テストを復習する（60分）	
4)	食事文化 日本の行事と食事 【予習】教科書p27～33を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	小テスト
5)	食卓のコーディネート① 【予習】教科書p36～42を読んでくる（30分） 【復習】まとめ、小テストを復習する（60分）	
6)	食卓のコーディネート② 【予習】教科書p43～56を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
7)	食卓のサービスとマナー① 【予習】教科書p58～75を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	小テスト
8)	食卓のサービスとマナー② 【予習】教科書p69～80を読んでくる（30分） 【復習】小テストを復習する（60分）	
9)	メニュープランニング 【予習】教科書p81～98を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
10)	食空間のコーディネート 【予習】教科書p99～114を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
11)	食空間のコーディネート カラーコーディネート 【予習】教科書p114～122を読んでくる（30分） 【復習】まとめを復習する（60分）	
12)	フードサービスマネジメント 【予習】教科書p27～33を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
13)	フードスペシャリスト試験過去問 【予習】配布した過去問を解いてくる（60分） 【復習】過去問を復習する（60分）	過去問
14)	食の企画実践コーディネート 【予習】教科書p145～155を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
15)	フードコーディネートの仕事 【予習】教科書p156～163を読んでくる（30分） 【復習】授業内容を復習する（60分）	
授業外学習		
予習として教科書を読んでおくこと。授業で行うまとめや小テストを復習する。 課題を課すことがある。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『3訂フードコーディネート論』日本フードスペシャリスト協会編（建帛社）		フードスペシャリスト論 フードコーディネート演習

課題に対するフィードバック
小テストは採点后返却し、解答とポイントを解説する。
備考
状況に応じて、授業計画が変更となる場合があります。

科目名	フードコーディネート演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	幸 恵里		関連する資格	フードコーディネーター3級資格 必修

授業概要

本授業は対面で実施する。

フードコーディネーター3級資格の科目である文化（食文化）、科学（健康と栄養と安全）、デザイン・アート（食環境デザインと芸術的創造性）、経済・経営（経済的概念と食関連事業経営実務）に関わる知識と技能を身につける。

到達目標

- 1.食の分野におけるコーディネート能力を習得する
- 2.テーブルウェアの種類を理解しセッティングができる
- 3.オリジナル料理を考案しプレゼンすることができる

成績評価方法

プレゼンテーション（70%）、小テスト・課題（20%）、授業態度（10%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション				○			70
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーブルウェアと食卓の演出 【予習・復習】テーブルウェアの種類と特徴（60分）		
2) カラーコーディネートの演習 【予習・復習】カラーコーディネートの特徴（60分）		
3) デザインの基本 【予習・復習】デザインの基本について学ぶ（60分）		個人ワーク
4) 写真の撮り方と加工 【予習・復習】写真の撮り方と加工について学ぶ（60分）		
5) 行事食カードの作成 【予習・復習】カードの作成（60分）		個人ワーク
6) 行事食カードの評価 【予習・復習】カードの作成および評価（90分）		グループワーク
7) リーフレットの作成 【予習・復習】リーフレットの作成		個人ワーク
8) リーフレットの評価 【予習・復習】リーフレットの評価		プレゼン
9) アイデア料理の考案（簡単クリスマスデザート） 【予習・復習】課題（90分）		個人ワーク
10) アイデア料理の調理・プレゼンテーション 【予習・復習】課題（60分）		個人ワーク
11) インスタ映え料理の検討 【予習・復習】課題（90分）		グループワーク
12) インスタ映え料理の調理・プレゼンテーション 【予習・復習】課題（60分）		グループワーク
13) お茶を楽しむ（紅茶の種類と特徴） 【予習・復習】茶乃種類と特徴（60分）		
14) お茶を楽しむ（ティーパーティー） 【予習・復習】ティーパーティーのテーブルセッティング（60分）		グループワーク
15) 認定校統一試験対策 【予習・復習】過去問（120分）		過去問対策
授業外学習		
授業計画にそった個人ワークができるように積極的に取り組む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
「新フードコーディネーター教本2020」日本フードコーディネーター協会編（柴田書店）		フードコーディネート論 食文化論

課題に対するフィードバック
アイデア料理の考案ではプレゼンの前に提出し、翌週にコメントを添えて返す。
備考
状況に応じて、授業計画を変更する場合があります。

科目名	製菓演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	坂田 淳一、有福 璃果	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
 一般洋菓子の製作演習（生地作り・焼成・仕込み・仕上げ）と製菓理論を修得する。
 坂田 淳一は、洋菓子職人の実務経験をもとに、製菓演習Ⅰについて授業を行う。

到達目標

M1301

洋菓子作りにおける基礎知識の習得と実技指導により、一般的な洋菓子技術を身に付け、自他共に職による将来の家庭円満と幸福を導くことを目指す。

成績評価方法

レポートの提出と演習内で作成したケーキ等を採点
 演習中の授業態度を重視する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○			○			30
小テスト、授業内レポート			○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○				20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 授業日程の確認及び製菓について 【予習】洋菓子の作り方や歴史を調べる(20分)【復習】ノート整理(10分)		
2) 共立て法による丸型スポンジとシートスポンジの焼成 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
3) 共立て法による丸型スポンジとシートスポンジの焼成 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
4) 別立て法によるスポンジ生地焼成と共立て法の違い 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
5) 別立て法によるスポンジ生地焼成と共立て法の違い 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
6) シュガーバター法による生地の仕込み方と焼成（マドレーヌ・パウンドケーキ等） 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
7) シュガーバター法による生地の仕込み方と焼成（マドレーヌ・パウンドケーキ等） 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
8) 絞り種クッキーとパートシュクレの仕込み方と焼成（めん棒で延ばす生地） 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
9) 絞り種クッキーとパートシュクレの仕込み方と焼成（めん棒で延ばす生地） 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
10) プリン・ゼリー・ムース等、流し物の作り方 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
11) プリン・ゼリー・ムース等、流し物の作り方 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
12) ヨーロッパの歴史と文化から生まれた焼菓子 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
13) ヨーロッパの歴史と文化から生まれた焼菓子 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
14) 生地焼成・仕込み・仕上げの順序でアントルメを作る 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
15) 生地焼成・仕込み・仕上げの順序でアントルメを作る 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
授業外学習		
毎回、授業の復習をしてくること。 （当日配付したレシピの材料確認をし、その材料の特徴・特性を調べてから次の授業に臨む）		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
必要なものは随時資料配布するが、当日板書や手書きにて指示することが多いので、筆記用具を忘れないこと。	製菓演習Ⅱ	

課題に対するフィードバック
演習内で仕上げたケーキなどについては、演習内で採点する。 レポートについては、コメントをつけて返す。
備考
清潔に気をつけることと他人に迷惑をかけないこと。基本に忠実であり、物づくりのための素材・道具を大切にすること。 【オフィスアワー】 演習前後の時間に対応する。

科目名	製菓演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	坂田 淳一、猪熊 ゆかり、有福 璃果	関連する資格		

授業概要

本授業は対面で実施する。
洋菓子作りに必要な技術のさらなる向上を目指し、和菓子については基本を習得する。
また対象者に適した材料選択や配合割合を理解し、日常の食生活に活かす方法を学ぶ。
坂田 淳一は、洋菓子職人の実務経験をもとに、製菓演習Ⅱについて授業を行う。
猪熊 ゆかりは、和菓子職人の実務経験をもとに、製菓演習Ⅱについて授業を行う。

到達目標

M4302

洋菓子作りにおいては高度な技術を必要とする菓子の作製を試み、和菓子作りを通して和菓子の美味しさを理解し、対象者に適した菓子の作製を試みる。

成績評価方法

レポート提出や演習内で作成したケーキ等を採点
演習中の授業態度を重視する

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○			○			30
小テスト、授業内レポート			○				10
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度					○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○			10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 授業日程の確認及び製菓演習Ⅰの復習 【予習】製菓演習Ⅰの復習をしておく(20分)【復習】ノート整理(10分)		
2) 和菓子編 蒸し菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
3) 和菓子編 蒸し菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
4) 和菓子編 もち菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
5) 和菓子編 もち菓子 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
6) 和菓子編 外郎(ういろう) 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
7) 和菓子編 外郎(ういろう) 猪熊ゆかり 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
8) 洋菓子応用編 ザッハトルテ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
9) 洋菓子応用編 ザッハトルテ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
10) 洋菓子応用編 ティラミス 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
11) 洋菓子応用編 ティラミス 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
12) 洋菓子応用編 フルーツケーキ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
13) 洋菓子応用編 フルーツケーキ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
14) 洋菓子応用編 クリスマスケーキ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
15) 洋菓子応用編 クリスマスケーキ 坂田淳一 【予習】使用する材料の特徴・特性を調べる(20分)【復習】作り方を復習(10分)		演習
授業外学習		
毎回、授業の復習をしてくること。 （当日配付したレシピの材料確認をし、その材料の特徴・特性を調べてから次の授業に臨む）		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
必要なものは随時資料配布するが、当日板書や手書きにて指示することが多いので、筆記用具を忘れないこと。	製菓演習Ⅰ	

課題に対するフィードバック
演習内で仕上げた和菓子・ケーキなどについては、演習内で採点する。 レポートについては、コメントをつけて返す。
備考
清潔に気をつけることと他人に迷惑をかけないこと。基本に忠実であり、物づくりのための素材・道具を大切にすること。 【オフィスアワー】 演習前後の時間に対応する。

科目名	生活化学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	石丸 隆行、飯田 亮平	関連する資格		

授業概要

生活化学では、栄養士に必要な食品学実験や生化学実験などにおいて基礎となる、指数や濃度計算及び実験で使用する実験器具の使い方、基本的操作法を習得することを目的とする。
 実験操作や実験方法について学ぶのは当然であるが、それと同じくらい自ら考え、わかったことを文章にすることは大事である。レポートの書き方についても説明する。
 講義は基本オンラインで行います。（2回目～7回目）、8回目以降は対面講義及び実験です。

到達目標

M1108

1. 最低限の試薬の調製ができるようになる。
2. 実験器具を使えるようになる。
3. 基礎的な実験及び計算ができるようになる。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

得た知識や技能を基に、主体的な研究活動に取り組み、その結果をまとめることができる。

成績評価方法

レポート、授業態度などを総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○						20
宿題、授業外レポート	○	○	○				60
授業態度・授業参加度				○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 授業概要の説明、入学前教育（計算問題）解説 【予習】入学前教育の問題を解けるようになっておく（60分） 【復習】本日行った計算問題を解けるようになっておく（20分）		個人ワーク、協働学習
2) 化学の基礎1 単位 【予習】日常、化学で使用する単位について勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（10分）		オンライン
3) 化学の基礎2 元素 【予習】高校の化学の教科書を読み、元素について勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（10分）		オンライン
4) 化学の基礎3 原子の構造、電子配置、イオン 【予習】高校の化学の教科書を読み、原子、イオンについて勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（10分）		オンライン
5) 化学の基礎4 原子の結合 【予習】高校の化学の教科書を読み、原子、イオンについて勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（10分）		オンライン
6) 化学の基礎5 質量数と原子量、分子量、式量 【予習】高校の化学の教科書を読み、原子量について勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（10分）		オンライン
7) 化学の基礎6 モル、価数、グラム当量、規定度 【予習】高校の化学の教科書を読み、モルについて勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（30分）		オンライン
8) 化学の基礎7 中和反応 【予習】高校の化学の教科書を読み、中和について勉強しておく（20分） 【復習】本日のプリントをみて復習しておく（15分）		
9) レポートの書き方と実験準備（器具の使い方、試薬の調製） 【予習】実験機器の使い方について勉強しておく（20分） 【復習】器具の使い方はしっかり復習しておく（20分）		グループワーク フィールドワーク
10) 実験1 中和滴定 既知試料 酸とアルカリによる中和滴定 【予習】プリントをみて実験操作について予習しておく（20分） 【復習】レポート作成（60分）		グループワーク フィールドワーク
11) 実験1 中和滴定 未知試料 酸とアルカリによる中和滴定 【予習】プリントをみて実験操作について予習しておく（20分） 【復習】レポート作成（60分）		グループワーク フィールドワーク
12) 実験1 ジュースの酸度の分析 【予習】プリントをみて実験操作について予習しておく（20分） 【復習】レポート作成（60分）		グループワーク フィールドワーク
13) 計算方法の復習 【予習】今までの実験で使用した計算式の復習（15分） 【復習】計算方法を復習しておく（30分）		個人ワーク、協働学習
14) 小テスト1 今までの授業のまとめ、小テスト 【予習】今まで行った計算、実験器具などを復習しておく（30分） 【復習】今回の小テストを復習しておく（30分）		小テスト
15) 小テスト2 今までの授業のまとめ、小テスト 【予習】前回の小テストをしっかり復習しておく（30分） 【復習】今までの講義、実験内容を復習しておく（30分）		小テスト
授業外学習		
1. テーマごとに実験レポートを書き、考える能力や文章作成能力を高めることが大事である。 2. 課題を出す場合もあるが、わからないときは教科書やネットを使って調べるなどして取り組むよう努めること。ただし、教科書やネットの情報を丸写ししないようにする。調べて得た情報を一度、自分の中で消化・吸収してから、自分の言葉を使って文章を書くことが大事である。また、自分の言葉で書いた文章を読みなおして、自分が言いたいことがその文章を読んで伝わるかどうかを確認してみることも大事。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
プリントを配付する。		食品学実験、生化学実験、食品衛生学実験

課題に対するフィードバック
実験ごとに翌週までにレポートを提出する。コメントをつけて返すので、訂正があれば修正して再提出する。
備考
授業の始めに大事なことを説明することが多いので、遅刻や欠席はしないように。 レポートはきちんと出すこと。一回でも出さないと不可となるので注意すること。 【オフィスアワー】 石丸 隆行

科目名	栄養情報処理			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	門間 政亮		関連する資格	

授業概要

【対面授業】

コンピュータ上で「タイピング」、「メールの操作」、「情報検索」、「文章作成」、「表計算」などのように、栄養士として必要な情報処理技術だけでなく、社会に出てからも必要とされる情報通信技術について総合的に学習し、「コンピュータを操作して目的としていることを達成する」能力を身につけます。

到達目標

- 1) 本学の共通端末を起動し、Windowsの基本操作ができる。
- 2) メール操作(作成、送受信)ができる。
- 3) インターネットを使用して目的の情報が収集できる。
- 4) 情報社会の中でのルールやマナーについて理解し、説明できる。
- 5) Wordを使用して文章作成ができる。
- 6) Excelを使用してデータの整理やグラフ作成ができる。
- 7) PowerPointを使用してプレゼンテーション用のスライドを作成し、発表することができる。

成績評価方法

期末定期試験、レポート、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			10
グループワーク							
演習	○	○	○	○			20
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】、【メールの設定・操作】-メールの作成、送受信- 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】メール操作の確認（20分）	個人ワーク
2)	【Windowsの基本操作】- Windowsの仕組み、ファイル操作、タッチタイピング- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】タッチタイピングの練習（20分）	個人ワーク
3)	【インターネットの利用】-情報検索、情報社会のルールとマナー- 【予習】ファイル操作の確認（10分） 【復習】情報検索（20分）	個人ワーク
4)	【文章作成 1】-Wordの基礎、文章の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
5)	【文章作成 2】-書式設定、図表の挿入- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
6)	【文章作成 3】-総合的な資料の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Word操作の確認（20分）	個人ワーク
7)	【表計算 1】-Excelの基礎、表の作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
8)	【表計算 2】-データ整理、計算- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
9)	【表計算 3】-グラフの作成、編集- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】Excel操作の確認（20分）	個人ワーク
10)	【プレゼンテーション 1】-PowerPointの基礎、スライドの作成、保存- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】PowerPoint操作の確認（20分）	個人ワーク
11)	【プレゼンテーション 2】-レイアウト、アニメーション- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作内容の検討（20分）	個人ワーク
12)	【プレゼンテーション 3】-デジタル絵本(紙芝居)の作成- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】製作物の確認（10分）	個人ワーク
13)	【プログラミング体験】-Scratch入門- 【予習】情報検索（10分） 【復習】操作の確認（20分）	個人ワーク
14)	【総合演習 1】-情報検索、グラフの作成、スライドの作成- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】発表練習（20分）	個人ワーク
15)	【総合演習 2】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表した内容の確認（20分）	プレゼンテーション
授業外学習		
コンピュータは使えば使うほど上達します。授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習してください。特にタイピング練習は重要です。空いた時間で構わないので、積極的に行ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
イチからしっかり学ぶ！Office基礎と情報モラルOffice2016対応（noa出版）		

課題に対するフィードバック
次回の講義冒頭で解説を行います。
備考
・本演習の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。必ず毎回出席するようにしてください。 ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	パソコン演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	門間 政亮		関連する資格	

授業概要

【対面授業】

本演習の前半ではMicrosoft Officeの応用編として、Excel関数とExcelを用いた基本的な統計処理について学びます。後半では情報社会の基盤となっているコンピュータやネットワークの基本的な仕組みをテーマとして、情報の収集、分析、プレゼンテーションを行います。

到達目標

- 1) Excel関数を用いて表計算ができる。
- 2) Excelを用いて基本的な統計処理ができる。
- 3) コンピュータ演習室内のネットワーク環境を活かして情報を収集、分析し、プレゼンテーションすることができる。

成績評価方法

提出されたレポート、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			10
宿題、授業外レポート	○	○					10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			20
グループワーク		○	○		○		20
演習	○	○	○				30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】、【Excel関数 1】-Excel関数入門- 【予習】シラバスを読む（5分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
2)	【Excel関数 2】-計算に関する関数- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
3)	【Excel関数 3】-条件によって処理を変える関数- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
4)	【Excel関数 4】-文字列操作に関する関数- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
5)	【データベース】-アンケート集計の方法- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
6)	【統計処理 1】-基本統計量- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
7)	【統計処理 2】-度数分布とヒストグラム- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
8)	【統計処理 3】-平均の比較- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
9)	【統計処理 4】-散布図と相関- 【予習】教科書のおさらい（10分） 【復習】関数のおさらい（10分）	
10)	【情報科学の基礎技術 1】-キーワードの調査、情報の整理①- 【予習】情報検索（10分） 【復習】情報検索（20分）	
11)	【情報科学の基礎技術 2】-プレゼンテーション準備、スライドの作成①- 【予習】情報検索（10分） 【復習】発表練習（20分）	
12)	【情報科学の基礎技術 3】-プレゼンテーション①- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表内容のまとめ（20分）	プレゼンテーション
13)	【情報科学の基礎技術 4】-キーワードの調査、情報の整理②- 【予習】情報検索（10分） 【復習】情報検索（20分）	
14)	【情報科学の基礎技術 5】-プレゼンテーション準備、スライドの作成②- 【予習】情報検索（10分） 【復習】発表練習（20分）	
15)	【情報科学の基礎技術 6】-プレゼンテーション②- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表内容のまとめ（20分）	プレゼンテーション
授業外学習		
Excel関数は便利ですが、名前を覚えないと活用できないため、繰り返し練習を行ってください。また、プレゼンテーションに向け、話す内容や段取りを決め、発表練習を行ってください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
栄養情報処理のテキストを使用します。		栄養情報処理

課題に対するフィードバック
次回の講義冒頭で解説を行います。
備考
・ 毎回出席して、少しずつ積み重ねていくことが重要です。欠席はしないでください。 ・ 授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	パソコン演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	門間 政亮		関連する資格	

授業概要

【対面授業】

本演習ではビジュアルプログラミング言語Scratchを用いて、論理的に筋道を立てて考える思考力を養います。

到達目標

- 1) Scratchを活用し、プログラムを製作することができる。
- 2) 論理的な思考ができる。

成績評価方法

提出されたレポート、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○			50
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】、【Scratch 1】 - Scratch 入門- 【予習】 シラバスを読む（5分） 【復習】 作品例を閲覧する（10分）	
2)	【Scratch 2】 - Scratch 入門 実践編- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
3)	【Scratch 3】 -変数と配列- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
4)	【Scratch 4】 -関数- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
5)	【Scratch 5】 -アルゴリズム1- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
6)	【Scratch 6】 -アルゴリズム2- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
7)	【Scratch 7】 -図形描画1- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
8)	【Scratch 8】 -図形描画2- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
9)	【Scratch 9】 -アルゴリズム3- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
10)	【Scratch 10】 -アルゴリズム4- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
11)	【Scratch 11】 -実践演習1- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
12)	【Scratch 12】 -実践演習2- 【予習】 前回のおさらい（10分） 【復習】 操作の確認（10分）	
13)	【Scratch 13】 -総合演習1- 【予習】 製作内容の検討（10分） 【復習】 製作方法の検討（10分）	
14)	【Scratch 14】 -総合演習2- 【予習】 製作方法の確認（10分） 【復習】 製作方法の確認（10分）	
15)	【Scratch 15】 -総合演習3- 【予習】 製作方法の確認（10分） 【復習】 製作物の確認（10分）	
授業外学習		
Scratchはネット環境さえあれば無料で使用することができ、かつ簡単に習得することができます。授業で学んだ事を繰り返し練習してください。最終的に、設定した課題を達成するにはどのように組み立てればよいのか、自分で考え実行できるようになることが目標です。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
データを適宜配布します。		栄養情報処理、パソコン演習Ⅰ

課題に対するフィードバック
授業内で解説を行います。
備考
・ 毎回出席して、少しずつ積み重ねていくことが重要です。欠席はしないでください。 ・ 授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	インターンシップ						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	選択	1		1年	後期		
担当者名	門間 政亮		関連する資格				
授業概要 将来の進路を考えるうえで参考となるよう、企業等で業務体験を行う。							
到達目標 1. 企業の業務を体験することで、仕事に対する真摯な態度を身に付け、就職活動への心構えをつくりあげる。 2. 実社会における人間関係に触れ、社会人となるための自立心を持つ。 卒業認定・学位授与の方針との関連性 主体的な研究活動やフィールド調査に取り組み、その結果をまとめることができる。				成績評価方法 実習時間、実習受入先の評価、実習態度、レポート等による総合評価			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				50
宿題、授業外レポート	○	○	○				40
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション インターンシップの説明 【予習】山口県インターンシップ推進協議会のHPを見ておく（30分） 【復習】山口県インターンシップ推進協議会のHPを見ておく（10分） 2) 事前教育 企業研究 【予習】インターンシップに行きたい企業を決めておく。（30分） 【復習】インターンシップに行きたい企業のHP等をみて企業研究をする。（30分） 3) 事前教育 書類作成 【予習】事前に渡した書類の下書きをしておく。（20分） 【復習】志望動機等を考えておく。（60分） 4) 事前教育 書類作成② 【予習】志望動機を下書きしておく。（20分） 【復習】渡した書類を書いてくる。（30分） 5) 事前教育 マナー講座 【予習】企業訪問のマナーを勉強しておく。（30分） 【復習】企業訪問のマナーの復習。（20分） 6) 研修 【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。（60分） 7) 研修 【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。（60分） 8) 研修 【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。（60分） 9) 研修 【予習・復習】実習先で学ぶ内容を理解する。（60分） 10) 研修 【予習・復習】実習先で学ぶ内容の復習。（60分） 11) 研修内容についてのまとめ 【予習】実習先で学んだ内容の復習。（30分） 【復習】実習先で学んだ内容の復習。（30分） 12) 研修内容についてのまとめ 【予習】報告書の作成。（30分） 【復習】報告書の作成。（30分） 13) 研修内容についてのまとめ 【予習】報告書のやり直し。（20分） 【復習】報告書のやり直し。（20分） 14) 研修内容についてのまとめ 【予習】報告書のやり直し。（20分） 【復習】報告書のやり直し。（20分） 15) まとめ、報告 【予習・復習】実習先で学んだ内容の復習。（30分）		対面／オンライン併用
授業外学習		
インターンシップ終了後、レポートを提出してもらいます。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
実施に当たっては適宜指示します。	大学入門、キャリアデザイン	

課題に対するフィードバック
レポート提出後、こちらで添削しますので、添削後に再提出してください。
備考
実施時期：1 年次後期の休業期間において行います。 実施日数：5 日間以上とする。 実習先：官民を問わず、学科で学ぶ食物栄養学の知識を向上させることが出来る企業をその対象とする 実際に研修するにあたっては、意欲的に取り組み、必要と思われる事前教育を必ず受けることが要求される。事前教育の内容については、別に定める。

科目名	食物栄養ゼミ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	2年	通年(前期)
担当者名	城野 世津子、石丸 隆行、末吉 奈恵 保美、山下 晋平、門間 政亮、幸里、飯田 亮平、大久保 祐花	関連する資格		

授業概要

食物栄養に関して、最も興味あるテーマを自ら選び、教員のアドバイスを受けながら、個人または少人数のグループで「研究」遂行し、またその成果を公表する。

到達目標

M3401

一つの研究課題について、計画、実行、解析、論文作成および発表の過程を習得し、実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

幅広い専門教育科目を学習することによって得た知識や技能を基に、主体的な研究活動やフィールド調査に取り組み、その結果をまとめることができる。

成績評価方法

個人・グループ学習、研究課題への取り組み状況、論文および発表による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○				30
グループワーク	○	○	○				60
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 研究課題の選定・決定 【予習】興味や関心のある事柄について書き出してくる（30分） 【復習】興味や関心のある事柄について具体的に考えてまとめる（30分）		
2) 研究課題の選定・決定 【予習】課題の選定のために問題意識をもって予習する（30分） 【復習】課題の選定のために問題意識をもってまとめる。（30分）		
3) 研究計画の立案 【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）		
4) 研究計画の立案 【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）		
5) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
6) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
7) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
8) 結果のまとめ 【予習】結果を集計するための準備、予習をする（30分） 【復習】結果の整理をする（60分）		
9) 結果のまとめ 【予習】結果を集計するための準備、予習する（30分） 【復習】結果の整理をする（60分）		
10) 解析・考察 【予習】グラフ作成の予習（30分） 【復習】解析結果の整理（30分）		
11) 解析・考察 【予習】資料や解析資料の確認（30分） 【復習】解析結果の整理（60分）		
12) 論文作成 【予習】論文の書き方の予習（30分） 【復習】論文の見直し（60分）		
13) 論文・要旨集の作成 【予習】要旨集の書き方を予習（15分） 【復習】要旨集の見直し（60分）		
14) 発表会準備（口演） 【予習】発表の練習（60分） 【復習】発表会準備の振り返り（30分）		
15) 公表（発表会） 【予習】発表の練習（30分） 【復習】発表会の振り返り（30分）		
授業外学習		
担当教員の指示による		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
担当教員の指示による		

課題に対するフィードバック
食物栄養ゼミの論文は提出後返却しない。レポートや事前の下書きはコメントをつけて返却する。
備考

科目名	食物栄養ゼミ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	2	2年	通年(後期)
担当者名	城野 世津子、石丸 隆行、末吉 奈恵 保美、山下 晋平、門間 政亮、幸里、飯田 亮平、大久保 祐花	関連する資格		

授業概要

食物栄養に関して、最も興味あるテーマを自ら選び、教員のアドバイスを受けながら、個人または少人数のグループで「研究」遂行し、またその成果を公表する。

到達目標

M3401

一つの研究課題について、計画、実行、解析、論文作成および発表の過程を習得し、実施する。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

幅広い専門教育科目を学習することによって得た知識や技能を基に、主体的な研究活動やフィールド調査に取り組み、その結果をまとめることができる。

成績評価方法

個人・グループ学習、研究課題への取り組み状況、論文および発表による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○				30
グループワーク	○	○	○				60
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 研究課題の選定・決定 【予習】興味や関心のある事柄について書き出してくる（30分） 【復習】興味や関心のある事柄について具体的に考えてまとめる（30分）		
2) 研究課題の選定・決定 【予習】課題の選定のために問題意識をもって予習する（30分） 【復習】課題の選定のために問題意識をもってまとめる。（30分）		
3) 研究計画の立案 【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）		
4) 研究計画の立案 【予習】先行研究、参考文献を調べる（90分） 【復習】記録を整理し、研究計画を立てる（45分）		
5) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
6) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
7) 実施 【予習】本日の課題を予習する（30分） 【復習】実施内容の記録、整理をする（60分）		
8) 結果のまとめ 【予習】結果を集計するための準備、予習をする（30分） 【復習】結果の整理をする（60分）		
9) 結果のまとめ 【予習】結果を集計するための準備、予習する（30分） 【復習】結果の整理をする（60分）		
10) 解析・考察 【予習】グラフ作成の予習（30分） 【復習】解析結果の整理（30分）		
11) 解析・考察 【予習】資料や解析資料の確認（30分） 【復習】解析結果の整理（60分）		
12) 論文作成 【予習】論文の書き方の予習（30分） 【復習】論文の見直し（60分）		
13) 論文・要旨集の作成 【予習】要旨集の書き方を予習（15分） 【復習】要旨集の見直し（60分）		
14) 発表会準備（口演） 【予習】発表の練習（60分） 【復習】発表会準備の振り返り（30分）		
15) 公表（発表会） 【予習】発表の練習（30分） 【復習】発表会の振り返り（30分）		
授業外学習		
担当教員の指示による		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
担当教員の指示による		

課題に対するフィードバック
食物栄養ゼミの論文は提出後返却しない。レポートや事前の下書きはコメントをつけて返却する。
備考

科目名	総合演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	城野 世津子、石丸 隆行、末吉 奈恵 保美、山下 晋平、門間 政亮、幸里、飯田 亮平、大久保 祐花	関連する資格		

授業概要

食物栄養学科の教育課程に関連する内容について、栄養士実力認定試験対策 集中講義、学外研修等の形で総合的に学習する。

到達目標

M4303

専門分野を横断して、栄養士に必要とされる知識、技能、態度および考え方の総合的能力を習得できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連性

食の専門家であり続けるために、今まで学んだことを復習し、生涯にわたって新しい知識と技能を身につけながら、自己の資質向上に努めることができる。

成績評価方法

受講態度、レポート等による総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				50
宿題、授業外レポート	○	○	○				40
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 研修旅行 【予習】研修先の確認（15分） 【復習】研修内容のまとめ（15分）		
2) 研修旅行 【予習】研修先の確認（15分） 【復習】研修内容のまとめ（15分）		
3) 研修旅行 【予習】研修先の確認（15分） 【復習】研修内容のまとめ（15分）		
4) 研修旅行のまとめ 【予習】研修内容確認（10分） 【復習】研修内容のレポート作成（60分）		
5) 栄養士実力認定試験についてのガイダンス 【予習】シラバスを読んてくる（10分） 【復習】ガイダンスの振り返り		
6) 模擬試験の実施 【予習】試験の予習（60分） 【復習】不正解箇所を復習（60分）		
7) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
8) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
9) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
10) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
11) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
12) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
13) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
14) 栄養士実力認定試験の科目別の講義 【予習】科目の予習（30分） 【復習】科目の復習（60分）		
15) 模擬試験の実施 【予習】試験対策（120分） 【復習】不得意科目の復習（60分）		
授業外学習		
栄養士養成施設での教育内容の総復習となるので、授業外学習を積極的に行う		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
必要に応じて資料を配布する。		

課題に対するフィードバック
・ 模擬試験解答については採点后返却する。 ・ 研修旅行レポートはコメントをつけて返却する。
備考